

気候変動質問書2022：一般セクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022一般セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

スコアリングカテゴリとウェイト：概要

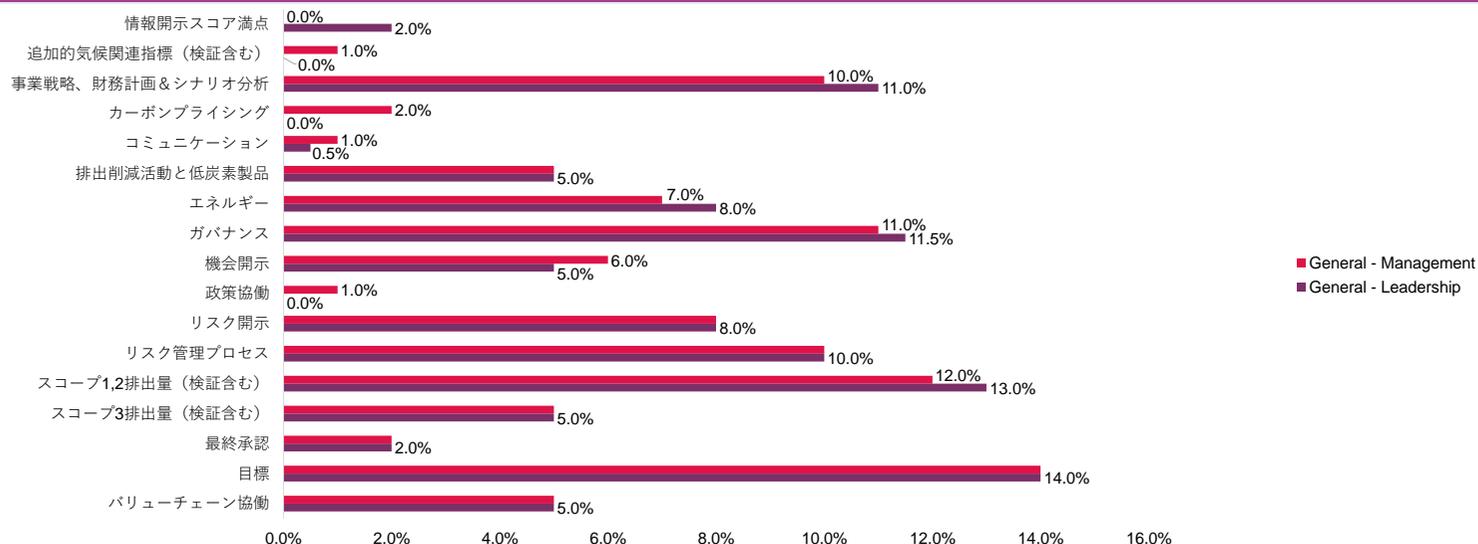
スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

2022スコアリングカテゴリ

2022年には、シナリオ分析が事業戦略や財務計画において重要であることを認識し、既存の「事業戦略&財務計画」のカテゴリに「シナリオ分析」のカテゴリを組み込みました。

2022年には以下の17のスコアリングカテゴリを設定しています。情報開示スコア満点、ガバナンス、リスク管理プロセス、リスク開示、機会開示、事業戦略、財務計画&シナリオ分析、目標、排出削減活動と低炭素製品、スコープ1,2排出量(検証含む)、スコープ3排出量(検証含む)、エネルギー、追加的気候関連指標(検証含む)、カーボンライシング、バリューチェーン協働、政策協働、コミュニケーション、最終承認

スコアリングカテゴリとウェイト：一般セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、一般セクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

一般セクター スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ		
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓		
	採点対象が	C0.2	X	X	X	X		
		C0.3	X	X	X	X		
		C0.4	X	X	X	X		
		C0.5	X	X	X	X		
		C0.8	X	X	X	X		
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X		
		C1.1a	✓	✓	✓	✓		
		C1.1b	✓	✓	✓	✓		
		C1.1c	✓	✓	✓	✓		
		C1.1d	✓	✓	✓	X		
		C1.2	✓	✓	✓	✓		
		C1.2a	✓	X	✓	X		
		C1.3	✓	✓	✓	X		
		C1.3a	✓	✓	✓	✓		
		リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X
				C2.1a	✓	✓	X	X
C2.1b	✓			X	✓	X		
C2.2	✓			✓	✓	✓		
C2.2a	✓			✓	✓	✓		
C2.2g	✓			✓	✓	✓		
リスク開示	C2.3		✓	X	X	X		
	C2.3a		✓	✓	✓	✓		
	C2.3b		✓	✓	✓	✓		
機会開示	C2.4		✓	X	X	X		
	C2.4a		✓	✓	✓	✓		
事業戦略	事業戦略、財務計画 & シナリオ分析	C3.1	✓	✓	✓	✓		
		C3.2	✓	✓	✓	✓		
		C3.2a	✓	✓	✓	✓		
		C3.2b	✓	✓	✓	X		
		C3.3	✓	✓	X	X		
		C3.4	✓	✓	X	X		
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	✓		
		C4.1a	✓	✓	✓	✓		
		C4.1b	✓	✓	✓	✓		
		C4.1c	✓	✓	✓	✓		
		C4.2	✓	X	✓	✓		
		C4.2a	✓	✓	✓	X		
	排出削減活動と低炭素製品	C4.2b	✓	✓	✓	X		
		C4.2c	✓	✓	✓	✓		
		C4.3	✓	✓	✓	X		
		C4.3a	✓	✓	✓	✓		
		C4.3b	✓	✓	✓	X		
排出量算定基準	スコープ1,2排出量(検証含む)	C4.3c	✓	X	X	X		
		C4.3d	✓	X	✓	✓		
		C4.5	✓	X	✓	X		
		C4.5a	✓	✓	✓	X		
		C5.1	✓	X	X	X		
		C5.1a	✓	X	X	X		
		C5.1b	✓	X	X	X		
		C5.1c	✓	✓	✓	X		
		C5.2	✓	✓	X	X		
		C5.3	✓	X	X	X		
排出量データ	スコープ3排出量(検証含む)	C6.1	✓	X	X	X		
		C6.2	✓	✓	X	X		
		C6.3	✓	✓	X	X		
		C6.4	✓	X	X	X		
		C6.4a	✓	✓	✓	✓		
		C6.5	✓	✓	✓	✓		
	スコープ1,2排出量(検証含む)	C6.5a	X	X	X	X		
		C6.7	✓	X	X	X		
		C6.7a	✓	✓	X	X		
		C6.10	✓	✓	✓	X		
モジュール	スコアリングカテゴリ	排出量内訳	スコープ1,2排出量(検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X
				C7.1a	✓	✓	X	X
				C7.2	✓	✓	X	X
				C7.3	✓	X	X	X
				C7.3a	✓	✓	X	X
				C7.3b	✓	✓	X	X
				C7.3c	✓	✓	X	X
				C7.5	✓	✓	X	X
				C7.6	✓	X	X	X
				C7.6a	✓	✓	X	X
				C7.6b	✓	✓	X	X
		C7.6c	✓	✓	X	X		
		C7.9	✓	✓	X	X		
		C7.9a	✓	✓	✓	X		
		C7.9b	✓	✓	X	X		
		エネルギー	エネルギー	C8.1	✓	✓	X	X
				C8.2	✓	X	X	X
				C8.2a	✓	✓	✓	✓
				C8.2b	✓	X	X	X
				C8.2c	✓	✓	✓	X
				C8.2d	✓	✓	✓	✓
				C8.2e	✓	✓	✓	✓
				C8.2g	✓	✓	X	X
				C8.2h	✓	✓	✓	✓
				C8.2i	✓	✓	X	X
				C8.2j	X	X	X	X
		C8.2k	X	X	X	X		
C8.2l	X	X	X	X				
C8.2m	X	X	X	X				
追加的気候関連指標	追加的気候関連指標(検証含む)	C9.1	X	X	X	X		
検証	スコープ1,2排出量(検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓		
		C10.1a	✓	X	✓	✓		
	C10.1b	✓	X	✓	✓			
	スコープ3排出量(検証含む)	C10.1c	✓	X	✓	✓		
追加的気候関連指標(検証含む)	C10.2	✓	✓	✓	X			
C10.2a	✓	✓	✓	X				
カーボンライジング	カーボンライジング	C11.1	✓	X	X	X		
		C11.1a	✓	X	X	X		
		C11.1b	✓	✓	X	X		
		C11.1c	✓	✓	X	X		
		C11.1d	✓	✓	✓	X		
		C11.2	✓	X	X	X		
		C11.2a	✓	X	✓	X		
		C11.3	✓	✓	✓	X		
		C11.3a	✓	✓	✓	X		
		エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
				C12.1a	✓	✓	✓	✓
C12.1b	✓			✓	✓	✓		
C12.1d	✓			X	✓	X		
C12.1e	✓			X	✓	✓		
C12.2	✓		✓	✓	X			
C12.2a	✓		✓	X	✓			
C12.3	✓		✓	✓	X			
コミュニケーション	C12.3a		✓	✓	✓	X		
	C12.3b		✓	✓	✓	X		
	C12.3c	✓	✓	✓	X			
	C12.4	✓	X	✓	✓			
	生物多様性	生物多様性	C15.1	X	X	X	X	
C15.2			X	X	X	X		
C15.3			X	X	X	X		
C15.4			X	X	X	X		
C15.5			X	X	X	X		
C15.6			X	X	X	X		
最終承認	最終承認	C16.1	✓	X	✓	✓		

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問

気候変動質問書2022: 農業コモディティセクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022農業コモディティセクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

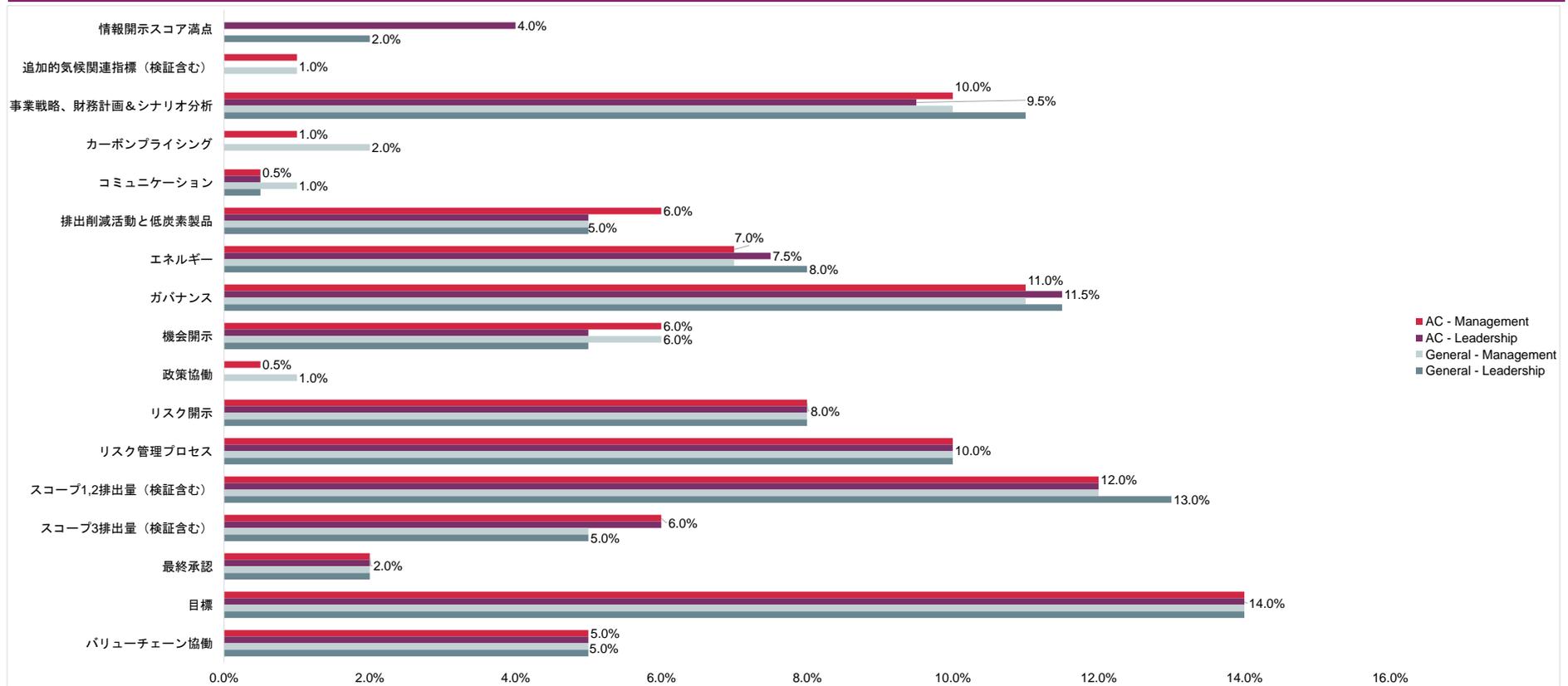
スコアリングカテゴリとウェイト:概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

農業コモディティ:重要なスコアリングカテゴリ

農業コモディティセクターの活動には、食品・飲料・タバコセクターで食品、飲料、タバコ、消費財の製造、包装、およびマーケティングの原材料として使用される原材料(作物および/または家畜)の生産や加工が含まれます。直接的な土地活動が広く行われていることを考慮すると、農業コモディティセクターは根本的に天然資源に依存しており、したがって気候変動の影響を直接受けていると言えます。農業コモディティセクターに関連するリスクは、森林減少、森林劣化のリスク、および農場管理の慣行です。農業コモディティセクターのバリューチェーン全体における排出量が大きいリスクを考慮すると、このセクターの企業にとって、スコープ3排出量算定やバリューチェーン協働が非常に重要です。気候変動と低炭素移行計画は、排出削減活動と低炭素技術の導入を通して、このセクターの企業の事業戦略に統合されるべきです。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、"情報開示スコア満点"のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 農業コモディティセクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、農業コモディティセクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

農業コモディティスコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ				
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量算定基準	排出量算定基準	C5.1	✓	X	X	X				
	採点対象外	C0.2	X	X	X	X				C5.1a	✓	X	X	X			
		C0.3	X	X	X	X				C5.1b	✓	X	X	X			
		C0.4	X	X	X	X				C5.1c	✓	✓	✓	✓	X		
		C0.5	X	X	X	X				C5.2	✓	✓	X	X	X		
		C-AC0.6	✓	X	X	X				C5.3	✓	X	X	X	X		
	ガバナンス	C-AC0.6a	✓	✓	X	X				排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X	
		C-AC0.6b	✓	✓	X	X						C6.2	✓	✓	X	X	X
		C-AC0.6c	✓	✓	X	X						C6.3	✓	✓	X	X	X
		C-AC0.6d	✓	✓	X	X						C6.4	✓	X	X	X	X
		C-AC0.6e	✓	✓	X	X						C6.4a	✓	✓	✓	✓	X
		C-AC0.6f	✓	✓	X	X						C6.5	✓	✓	✓	✓	✓
		C-AC0.6g	✓	✓	X	X						C6.5a	X	X	X	X	X
C-AC0.7	✓	✓	X	X		スコープ1,2排出量 (検証含む)	C-AC6.8	✓	✓			✓	✓	X			
採点対象外	C0.8	X	X	X	X		C-AC6.8a	✓	✓			✓	✓	X			
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X	追加的気候関連指標 (検証含む)	追加的気候関連指標 (検証含む)	C-AC6.9			✓	✓	X	X		
		C1.1a	✓	✓	✓	✓						C-AC6.9a	✓	✓	X	X	
		C1.1b	✓	✓	✓	✓						C6.10	✓	✓	✓	X	
		C1.1c	✓	✓	✓	✓						C7.1	✓	✓	X	X	
		C1.1d	✓	✓	✓	X				C7.1a	✓	✓	X	X			
		C1.2	✓	✓	✓	✓				C7.2	✓	✓	X	X			
		C1.2a	✓	X	✓	X				C7.3	✓	X	X	X			
		C1.3	✓	✓	✓	X				C7.3a	✓	✓	X	X			
		C1.3a	✓	✓	✓	✓				C7.3b	✓	✓	X	X			
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.3c	✓	✓	X	X				
		C2.1a	✓	✓	X	X				C-AC7.4	✓	✓	X	X			
		C2.1b	✓	X	✓	X				C-AC7.4a	✓	X	X	X			
		C2.2	✓	✓	✓	✓				C-AC7.4b	✓	✓	X	X			
		C2.2a	✓	✓	✓	✓				C-AC7.4c	✓	✓	X	X			
	リスク開示	C2.2g	✓	✓	✓	✓				C7.5	✓	✓	X	X			
		C2.3	✓	X	✓	X				C7.6	✓	X	X	X			
	機会開示	C2.3a	✓	✓	✓	✓				C7.6a	✓	✓	X	X			
		C2.3b	✓	✓	✓	✓				C7.6b	✓	✓	X	X			
C2.4		✓	X	✓	X				C7.6c	✓	✓	X	X				
事業戦略	事業戦略、財務計画&シナリオ分析	C2.4a	✓	✓	✓	✓				C7.9	✓	✓	X	X			
		C2.4b	✓	✓	✓	✓				C7.9a	✓	✓	✓	X			
		C3.1	✓	✓	✓	✓				C7.9b	✓	✓	X	X			
		C3.2	✓	✓	✓	✓		C8.1	✓	✓	X	X					
		C3.2a	✓	✓	✓	✓		C8.2	✓	X	X	X					
		C3.2b	✓	✓	✓	X		C8.2a	✓	✓	✓	✓					
		C3.3	✓	✓	X	X		C8.2b	✓	X	X	X					
		C3.4	✓	✓	X	X		C8.2c	✓	✓	✓	X					
		C3.5	✓	X	✓	X		C8.2d	✓	✓	✓	✓					
目標と実績	目標	C3.5a	✓	X	X	X	エネルギー	エネルギー	C8.2e	✓	✓	✓	X				
		C4.1	✓	✓	✓	✓				C8.2g	✓	✓	✓	X			
		C4.1a	✓	✓	✓	✓				C8.2h	✓	✓	✓	✓			
		C4.1b	✓	✓	✓	✓				C8.2i	✓	✓	X	X			
		C4.1c	✓	✓	✓	✓				C8.2j	X	X	X	X			
		C4.2	✓	X	✓	✓				C8.2k	X	X	X	X			
		C4.2a	✓	✓	✓	X				C8.2l	X	X	X	X			
		C4.2b	✓	✓	✓	X				C8.2m	X	X	X	X			
		C4.2c	✓	✓	✓	✓				追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X		
	排出削減活動と低炭素製品	C4.3	✓	✓	✓	X			検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓		
		C4.3a	✓	✓	✓	✓						C10.1a	✓	X	✓	✓	
		C4.3b	✓	✓	✓	X						C10.1b	✓	X	✓	✓	
		C4.3c	✓	X	X	X						C10.1c	✓	X	✓	✓	
C4.3d		✓	X	✓	✓		追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2			✓	✓	✓	X			
C-AC4.4	✓	X	✓	X		C10.2a	✓	✓	✓	X							
C-AC4.4a	✓	✓	X	X		C11.1	✓	X	X	X							
C4.5	✓	X	✓	X	カーボンライジング	カーボンライジング	C11.1a	✓	X	X	X						
C4.5a	✓	✓	✓	X				C11.1b	✓	✓	X	X					
								C11.1c	✓	✓	X	X					
								C11.1d	✓	✓	✓	X					
						C11.2	✓	X	X	X							

モジュール	スコアリングカテゴリー	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.2a	✓	X	✓	X
		C11.3	✓	✓	✓	X
		C11.3a	✓	✓	✓	X
エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
		C12.1a	✓	✓	✓	✓
		C12.1b	✓	✓	✓	✓
		C12.1d	✓	X	✓	X
		C12.1e	✓	X	✓	✓
		C12.2	✓	✓	✓	X
		C12.2a	✓	✓	X	✓
		C-AC12.2	✓	X	✓	X
		C-AC12.2a	✓	✓	X	X
		C-AC12.2b	✓	✓	X	X
	C-AC12.2c	✓	✓	X	X	
	政策協働	C12.3	✓	✓	✓	X
		C12.3a	✓	✓	✓	X
		C12.3b	✓	✓	✓	X
		C12.3c	✓	✓	✓	X
コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓	
その他の土地管理影響	排出削減活動と低炭素製品	C-AC13.1	✓	✓	X	X
		C-AC13.1a	✓	✓	X	X
	バリューチェーン協働	C-AC13.2	✓	✓	X	X
生物多様性	生物多様性	C-AC13.2a	✓	✓	X	X
		C15.1	X	X	X	X
		C15.2	X	X	X	X
		C15.3	X	X	X	X
		C15.4	X	X	X	X
		C15.5	X	X	X	X
C15.6	X	X	X	X		
最終承認	最終承認	C16.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2022: 食品・飲料・タバコセクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022食品・飲料・タバコセクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

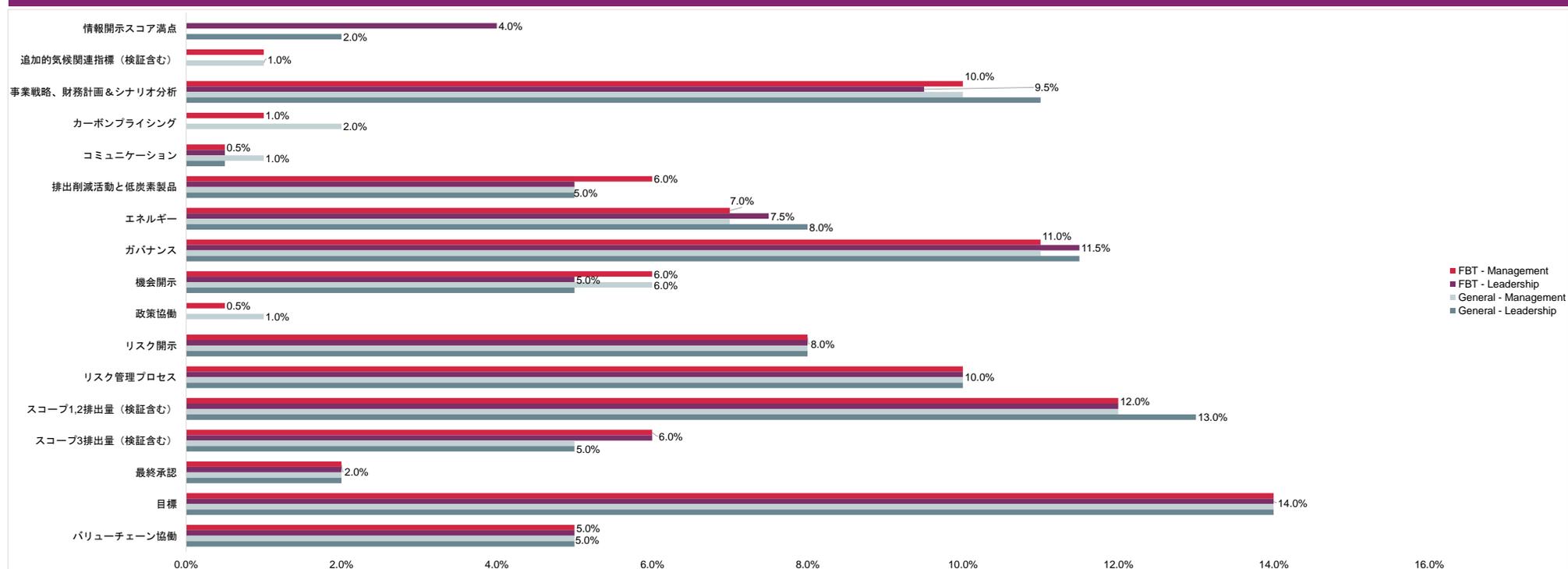
スコアリングカテゴリとウェイト: 概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

食品・飲料・タバコ: 重要なスコアリングカテゴリ

食品・飲料・タバコセクターの活動には、食品、飲料、タバコ、消費財の加工(包装を含む)、製造、取引が含まれています。このセクターの企業は通常、農業コモディティセクターの企業から原材料を調達しています。従って、森林減少、森林劣化のリスク、および農場管理の慣行によるリスクといった、農業活動からのリスクを潜在的に抱えていると言えます。また、食品、飲料、タバコ製品の加工、製造、包装には、機器、貯蔵施設および輸送からの温室効果ガス排出といったリスクも存在しています。従って、バリューチェーン協働やスコープ3排出量算定はこのセクターの企業がリスクに対処するために非常に重要な項目です。気候変動と低炭素移行計画は、排出削減活動と低炭素技術の導入を通して、このセクターの企業の事業戦略に統合されるべきです。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 食品・飲料・タバコセクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、食品・飲料・タバコセクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

食品・飲料・タバコスコアリングカテゴリ:各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量算定基準	排出量データ	C5.1	✓	X	X	X
	採点対象外	C0.2	X	X	X	X			C5.1a	✓	X	X	X
		C0.3	X	X	X	X			C5.1b	✓	X	X	X
		C0.4	X	X	X	X			C5.1c	✓	✓	✓	X
		C0.5	X	X	X	X			C5.2	✓	✓	X	X
		C-FB0.6	✓	X	X	X			C5.3	✓	X	X	X
	ガバナンス	C-FB0.6a	✓	✓	X	X			C6.1	✓	X	X	X
		C-FB0.6b	✓	✓	X	X			C6.2	✓	✓	X	X
		C-FB0.6c	✓	✓	X	X			C6.3	✓	✓	X	X
		C-FB0.6d	✓	✓	X	X			C6.4	✓	X	X	X
		C-FB0.6e	✓	✓	X	X			C6.4a	✓	✓	✓	X
		C-FB0.6f	✓	✓	X	X			C6.5	✓	✓	✓	✓
		C-FB0.6g	✓	✓	X	X			C6.5a	X	X	X	X
	C-FB0.7	✓	✓	X	X	追加的気候関連指標 (検証含む)			C-FB6.8	✓	✓	✓	X
採点対象外	C0.8	X	X	X	X	C-FB6.8a	✓	✓	✓	X			
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X	C-FB6.9	✓	✓	X	X		
		C1.1a	✓	✓	✓	✓	C-FB6.9a	✓	✓	X	X		
		C1.1b	✓	✓	✓	✓	C6.10	✓	✓	✓	X		
		C1.1c	✓	✓	✓	✓	C7.1	✓	✓	X	X		
		C1.1d	✓	✓	✓	X	C7.1a	✓	✓	X	X		
		C1.2	✓	✓	✓	✓	C7.2	✓	✓	X	X		
		C1.2a	✓	X	✓	X	C7.3	✓	X	X	X		
		C1.3	✓	✓	✓	X	C7.3a	✓	✓	X	X		
		C1.3a	✓	✓	✓	✓	C7.3b	✓	✓	X	X		
		リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X	C7.3c	✓	✓	X	X
C2.1a	✓			✓	X	X	C-FB7.4	✓	✓	X	X		
C2.1b	✓			X	✓	X	C-FB7.4a	✓	X	X	X		
C2.2	✓			✓	✓	✓	C-FB7.4b	✓	✓	X	X		
C2.2a	✓			✓	✓	✓	C-FB7.4c	✓	✓	X	X		
リスク開示	C2.2g		✓	✓	✓	✓	C7.5	✓	✓	X	X		
	C2.3		✓	X	✓	X	C7.6	✓	X	X	X		
	C2.3a		✓	✓	✓	✓	C7.6a	✓	✓	X	X		
機会開示	C2.3b		✓	✓	✓	✓	C7.6b	✓	✓	X	X		
	C2.4		✓	X	✓	X	C7.6c	✓	✓	X	X		
C2.4a	✓	✓	✓	✓	C7.9	✓	✓	X	X				
C2.4b	✓	✓	✓	✓	C7.9a	✓	✓	✓	X				
事業戦略	事業戦略、財務計画&シナリオ分析	C3.1	✓	✓	✓	✓	C7.9b	✓	✓	X	X		
		C3.2	✓	✓	✓	✓	C8.1	✓	✓	X	X		
		C3.2a	✓	✓	✓	✓	C8.2	✓	X	X	X		
		C3.2b	✓	✓	✓	X	C8.2a	✓	✓	✓	✓		
		C3.3	✓	✓	X	X	C8.2b	✓	X	X	X		
		C3.4	✓	✓	X	X	C8.2c	✓	✓	✓	X		
		C3.5	✓	X	✓	X	C8.2d	✓	✓	✓	✓		
C3.5a	✓	X	X	X	C8.2e	✓	✓	✓	✓				
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	✓	C8.2g	✓	✓	X	X		
		C4.1a	✓	✓	✓	✓	C8.2h	✓	✓	✓	✓		
		C4.1b	✓	✓	✓	✓	C8.2i	✓	✓	X	X		
		C4.1c	✓	✓	✓	✓	C8.2j	X	X	X	X		
		C4.2	✓	X	✓	✓	C8.2k	X	X	X	X		
		C4.2a	✓	✓	✓	X	C8.2l	X	X	X	X		
		C4.2b	✓	✓	✓	X	C8.2m	X	X	X	X		
		C4.2c	✓	✓	✓	✓	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X	
		排出削減活動と低炭素製品	C4.3	✓	✓	✓	X	検証	追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓
	C4.3a		✓	✓	✓	✓	C10.1a			✓	X	✓	✓
	C4.3b		✓	✓	✓	X	C10.1b			✓	X	✓	✓
	C4.3c		✓	X	X	X	C10.1c			✓	X	✓	✓
	C4.3d		✓	X	✓	✓	追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	✓	X	
	C-FB4.4		✓	X	✓	X	C10.2a	✓	✓	✓	X		
	C-FB4.4a		✓	✓	X	X	C11.1	✓	X	X	X		
	C4.5		✓	X	✓	X	C11.1a	✓	X	X	X		
	C4.5a	✓	✓	✓	X	C11.1b	✓	✓	X	X			
カーボンライジング	カーボンライジング	C11.1c	✓	✓	X	X	C11.1c	✓	✓	X	X		
		C11.1d	✓	✓	✓	✓	C11.1d	✓	✓	✓	X		
		C11.2	✓	X	X	X	C11.2	✓	X	X	X		

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.2a	✓	X	✓	X
		C11.3	✓	✓	✓	X
		C11.3a	✓	✓	✓	X
エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
		C12.1a	✓	✓	✓	✓
		C12.1b	✓	✓	✓	✓
		C12.1d	✓	X	✓	X
		C12.1e	✓	X	✓	✓
		C12.2	✓	✓	✓	X
		C12.2a	✓	✓	X	✓
		C-FB12.2	✓	X	✓	X
		C-FB12.2a	✓	✓	X	X
		C-FB12.2b	✓	✓	X	X
	C-FB12.2c	✓	✓	X	X	
	政策協働	C12.3	✓	✓	✓	X
		C12.3a	✓	✓	✓	X
		C12.3b	✓	✓	✓	X
	コミュニケーション	C12.3c	✓	✓	✓	X
		C12.4	✓	X	✓	✓
その他の土地管理影響	排出削減活動と低炭素製品	C-FB13.1	✓	✓	X	X
		C-FB13.1a	✓	✓	X	X
	バリューチェーン協働	C-FB13.2	✓	✓	X	X
		C-FB13.2a	✓	✓	X	X
生物多様性	生物多様性	C15.1	X	X	X	X
		C15.2	X	X	X	X
		C15.3	X	X	X	X
		C15.4	X	X	X	X
		C15.5	X	X	X	X
		C15.6	X	X	X	X
最終承認	最終承認	C16.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2022: 製紙林業セクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022製紙・林業セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

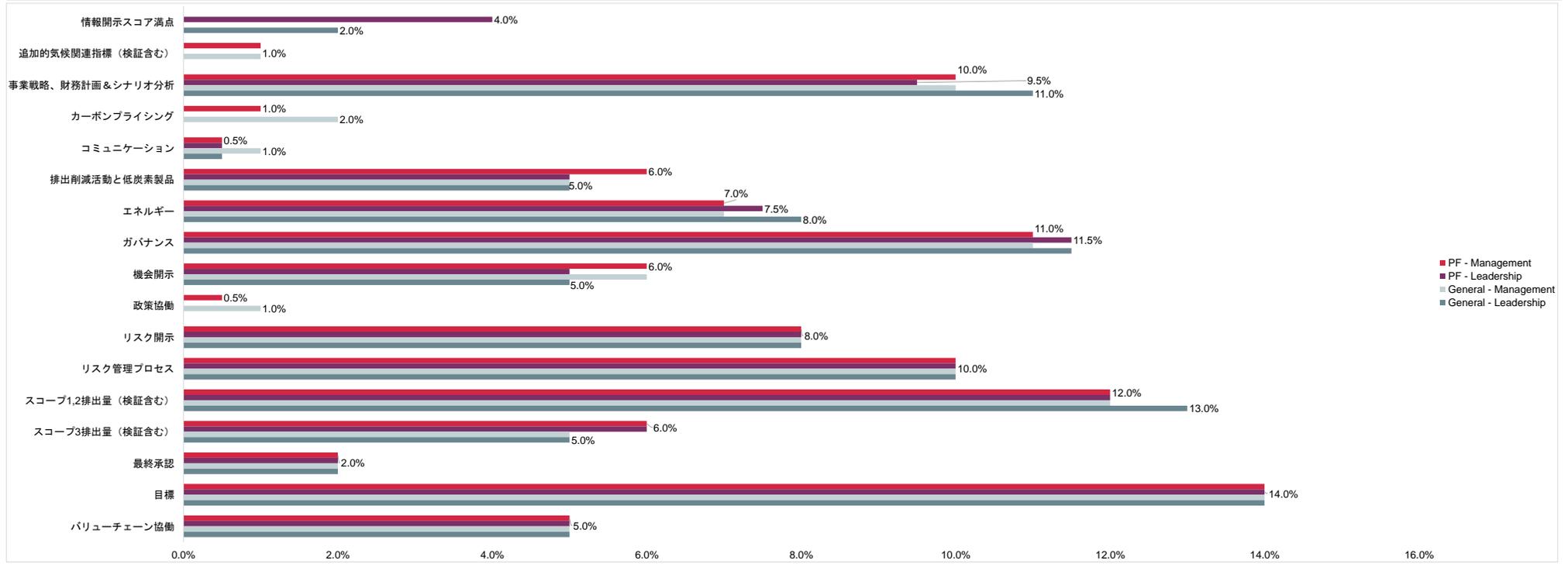
スコアリングカテゴリとウェイト: 概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なり、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

製紙林業: 重要なスコアリングカテゴリ

製紙・林業セクターの活動には、木材や木材を基本とした製品の製造および/または調達が含まれます。製紙・林業セクターに関連するリスクはバリューチェーン全体に広がっており、さまざまな要因に起因しています。例えば、持続可能でない森林管理活動、施設や上流・下流の輸送や配送のエネルギー利用におけるバイオ燃料としての木材の利用、農園/機器の残留物からの廃棄物管理などです。バリューチェーン全体における排出量が大きいリスクを考慮すると、このセクターの企業にとって、スコープ3排出量算定やバリューチェーン協働が非常に重要です。気候変動と低炭素移行計画は、排出削減活動と低炭素技術の導入を通して、このセクターの企業の事業戦略に統合されるべきです。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 製紙林業セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、製紙・林業セクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

製紙林業スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ			
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量算定基準	排出量算定基準	C5.1	✓	X	X	X			
	採点対象外	C0.2	X	X	X	X				C5.1a	✓	X	X	X		
		C0.3	X	X	X	X				C5.1b	✓	X	X	X		
		C0.4	X	X	X	X				C5.1c	✓	✓	✓	✓	X	
		C0.5	X	X	X	X				C5.2	✓	✓	X	X		
		C-PF0.6	✓	X	X	X			X	C5.3	✓	X	X	X	X	
	ガバナンス	C-PF0.6a	✓	✓	X	X				排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X
		C-PF0.6b	✓	✓	X	X			C6.2			✓	✓	X	X	
		C-PF0.6c	✓	✓	X	X			C6.3			✓	✓	X	X	
		C-PF0.6d	✓	✓	X	X			C6.4			✓	X	X	X	
		C-PF0.6e	✓	✓	X	X			C6.4a			✓	✓	✓	✓	X
		C-PF0.6f	✓	✓	X	X			C6.5			✓	✓	✓	✓	✓
		C-PF0.6g	✓	✓	X	X			C6.5a			X	X	X	X	X
		C-PF0.7	✓	✓	X	X			C-PF6.8			✓	✓	✓	✓	X
採点対象外	C0.8	X	X	X	X		C-PF6.8a	✓	✓			✓	✓	X		
							C-PF6.9	✓	✓			X	X			
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X		C-PF6.9a	✓	✓	X	X				
		C1.1a	✓	✓	✓	✓		排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.10	✓	✓	✓	X		
		C1.1b	✓	✓	✓	✓	C7.1			✓	✓	X	X			
		C1.1c	✓	✓	✓	✓	C7.1a			✓	✓	X	X			
		C1.1d	✓	✓	✓	X	C7.2			✓	✓	X	X			
		C1.2	✓	✓	✓	✓	C7.3			✓	X	X	X			
		C1.2a	✓	X	✓	X	C7.3a			✓	✓	X	X			
		C1.3	✓	✓	✓	X	C7.3b			✓	✓	X	X			
		C1.3a	✓	✓	✓	✓	C7.3c			✓	✓	X	X			
		リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X			X		C7.4	✓	✓	X	X
C2.1a	✓			✓	X	X	C-PF7.4			✓	✓	X	X			
C2.1b	✓			X	✓	X	C-PF7.4a	✓	X	X	X					
C2.2	✓			✓	✓	✓	C-PF7.4b	✓	✓	X	X					
C2.2a	✓			✓	✓	✓	C-PF7.4c	✓	✓	X	X					
リスク開示	C2.2g		✓	✓	✓	✓		C7.5	✓	✓	X	X				
	C2.3		✓	X	✓	X	C7.6	✓	X	X	X					
	C2.3a		✓	✓	✓	✓	C7.6a	✓	✓	X	X					
機会開示	C2.3b		✓	✓	✓	✓	C7.6b	✓	✓	X	X					
	C2.4		✓	X	✓	X	C7.6c	✓	✓	X	X					
	C2.4a	✓	✓	✓	✓	C7.9	✓	✓	X	X						
	C2.4b	✓	✓	✓	✓	C7.9a	✓	✓	✓	✓						
事業戦略	事業戦略、財務計画&シナリオ分析	C3.1	✓	✓	✓	✓	エネルギー	エネルギー	C7.9b	✓	✓	X	X			
		C3.2	✓	✓	✓	✓			C8.1	✓	✓	X	X			
		C3.2a	✓	✓	✓	✓			C8.2	✓	X	X	X			
		C3.2b	✓	✓	✓	X			C8.2a	✓	✓	✓	✓			
		C3.3	✓	✓	X	X			C8.2b	✓	X	X	X			
		C3.4	✓	✓	X	X			C8.2c	✓	✓	✓	✓			
		C3.5	✓	X	✓	X			C8.2d	✓	✓	✓	✓			
目標と実績	目標	C3.5a	✓	X	X	X			C8.2e	✓	✓	✓	✓			
		C4.1	✓	✓	✓	✓			C8.2g	✓	✓	X	X			
		C4.1a	✓	✓	✓	✓			C8.2h	✓	✓	✓	✓			
		C4.1b	✓	✓	✓	✓	C8.2i	✓	✓	X	X					
		C4.1c	✓	✓	✓	✓	C8.2j	X	X	X	X					
		C4.2	✓	X	✓	✓	C8.2k	X	X	X	X					
		C4.2a	✓	✓	✓	X	C8.2l	X	X	X	X					
		C4.2b	✓	✓	✓	X	C8.2m	X	X	X	X					
	排出削減活動と低炭素製品	C4.2c	✓	✓	✓	✓		追加的気候関連指標 (検証含む)	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X		
		C4.3	✓	✓	✓	X	検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓			
		C4.3a	✓	✓	✓	✓			C10.1a	✓	X	✓	✓			
		C4.3b	✓	✓	✓	X			C10.1b	✓	X	✓	✓			
		C4.3c	✓	X	X	X			C10.1c	✓	X	✓	✓			
		C4.3d	✓	X	✓	✓	追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	✓	X				
C-PF4.4	✓	X	✓	X	C10.2a	✓		✓	✓	X						
C-PF4.4a	✓	✓	X	X	カーボンライジング	カーボンライジング	C11.1	✓	X	X	X					
C4.5	✓	X	✓	X			C11.1a	✓	X	X	X					
C4.5a	✓	✓	✓	✓			C11.1b	✓	✓	X	X					
							C11.1c	✓	✓	X	X					
							C11.1d	✓	✓	✓	✓					
							C11.2	✓	X	X	X					

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.2a	✓	X	✓	X
		C11.3	✓	✓	✓	X
		C11.3a	✓	✓	✓	X
エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
		C12.1a	✓	✓	✓	✓
		C12.1b	✓	✓	✓	✓
		C12.1d	✓	X	✓	X
		C12.1e	✓	X	✓	✓
		C12.2	✓	✓	✓	X
		C12.2a	✓	✓	X	✓
		C-PF12.2	✓	X	✓	X
		C-PF12.2a	✓	✓	X	X
		C-PF12.2b	✓	✓	X	X
	C-PF12.2c	✓	✓	X	X	
	政策協働	C12.3	✓	✓	✓	X
		C12.3a	✓	✓	✓	X
		C12.3b	✓	✓	✓	X
		C12.3c	✓	✓	✓	X
	コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓
	その他の土地管理影響	排出削減活動と低炭素製品	C-PF13.1	✓	✓	X
C-PF13.1a			✓	✓	X	X
バリューチェーン協働		C-PF13.2	✓	✓	X	X
	C-PF13.2a	✓	✓	X	X	
生物多様性	生物多様性	C15.1	X	X	X	X
		C15.2	X	X	X	X
		C15.3	X	X	X	X
		C15.4	X	X	X	X
		C15.5	X	X	X	X
		C15.6	X	X	X	X
最終承認	最終承認	C16.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2022: 資本財セクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022資本財セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

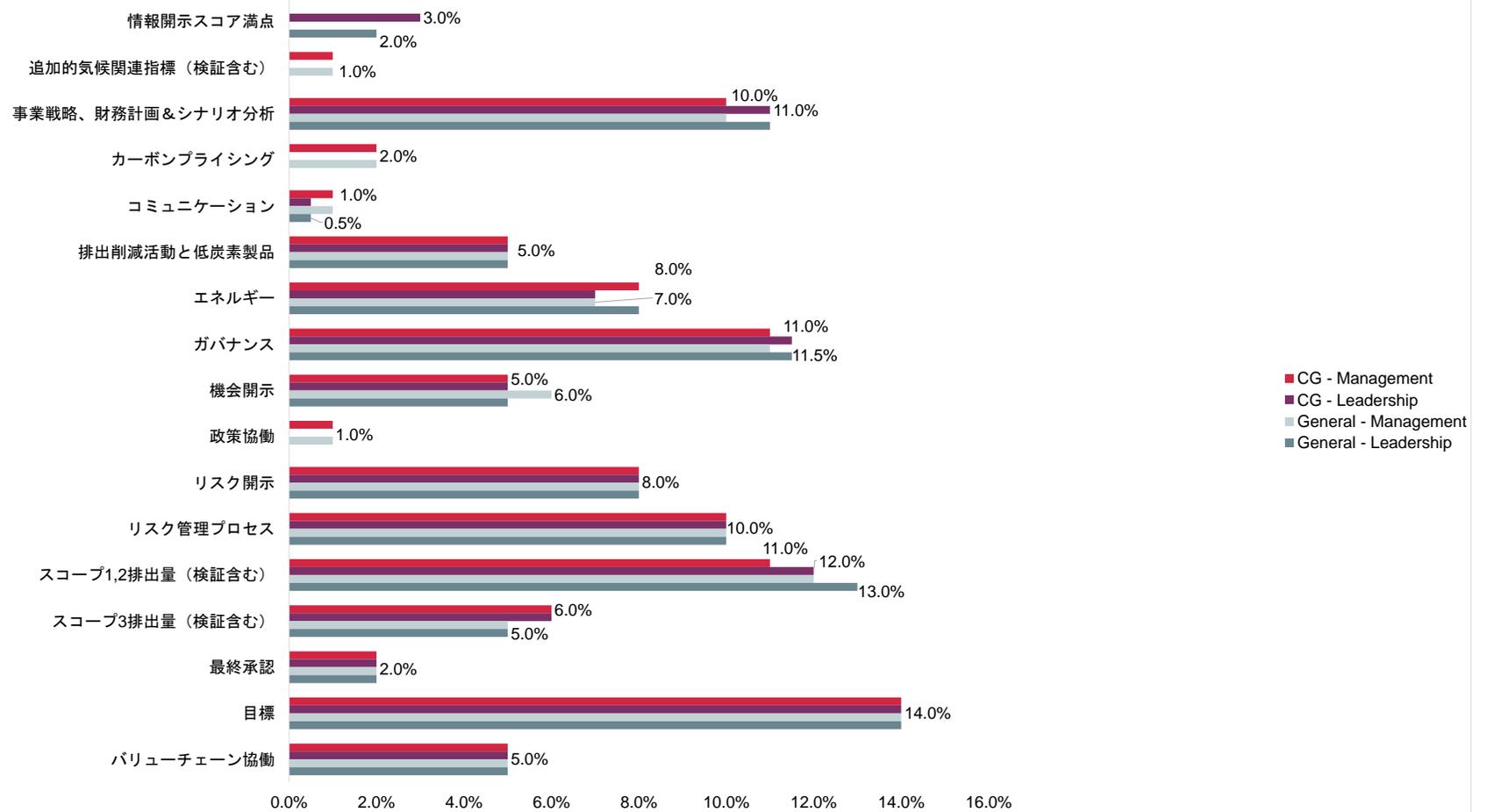
スコアリングカテゴリとウェイト: 概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なり、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

資本財: 重要なスコアリングカテゴリ

資本財セクターは、発電、建設、輸送、産業などの主要な排出量の多い最終市場に、製品やサービスを提供しています。したがって、バリューチェーン(スコープ3)での間接排出はセクターの鍵であり、その大部分は販売された製品およびサービスの使用に関連しています。また、資本財生産者は、将来の競争上の成功を保証し、製品関連の規制に備えるために、間接排出プロファイルを理解し、製品関連の気候リスクを管理する必要があります。システム全体に変更の余地があるエネルギー効率の高い低炭素製品の研究開発への投資も、資本財セクターの低炭素化への移行の鍵となるでしょう。透明性のあるセクター固有のメトリックを報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」カテゴリと「スコープ3」カテゴリの重み付けの増加によって強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 資本財セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、資本財セクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

資本財スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓
		C0.2	X	X	X	X
		C0.3	X	X	X	X
		C0.4	X	X	X	X
		C0.5	X	X	X	X
		C0.8	X	X	X	X
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X
		C1.1a	✓	✓	✓	✓
		C1.1b	✓	✓	✓	✓
		C1.1c	✓	✓	✓	✓
		C1.1d	✓	✓	✓	X
		C1.2	✓	✓	✓	✓
		C1.2a	✓	X	✓	X
		C1.3	✓	✓	✓	X
		C1.3a	✓	✓	✓	✓
		C1.3b	✓	✓	✓	✓
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X
		C2.1a	✓	✓	X	X
		C2.1b	✓	X	✓	X
		C2.2	✓	✓	✓	✓
		C2.2a	✓	✓	✓	✓
	C2.2g	✓	✓	✓	✓	
	リスク開示	C2.3	✓	X	✓	X
		C2.3a	✓	✓	✓	✓
		C2.3b	✓	✓	✓	✓
	機会開示	C2.4	✓	X	✓	X
C2.4a		✓	✓	✓	✓	
C2.4b		✓	✓	✓	✓	
事業戦略	事業戦略、財務計画 & シナリオ分析	C3.1	✓	✓	✓	✓
		C3.2	✓	✓	✓	✓
		C3.2a	✓	✓	✓	✓
		C3.2b	✓	✓	✓	X
		C3.3	✓	✓	X	X
		C3.4	✓	✓	X	X
		C3.5	✓	X	✓	X
C3.5a	✓	X	X	X		
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	✓
		C4.1a	✓	✓	✓	✓
		C4.1b	✓	✓	✓	✓
		C4.1c	✓	✓	✓	✓
		C4.2	✓	X	✓	✓
		C4.2a	✓	✓	✓	X
		C4.2b	✓	✓	✓	X
		C4.2c	✓	✓	✓	✓
	排出削減活動と低炭素製品	C4.3	✓	✓	✓	X
		C4.3a	✓	✓	✓	✓
		C4.3b	✓	✓	✓	X
		C4.3c	✓	X	X	X
		C4.3d	✓	X	✓	✓
C4.5	✓	X	✓	X		
C4.5a	✓	✓	✓	X		
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X	X	X
		C5.1a	✓	X	X	X
		C5.1b	✓	X	X	X
		C5.1c	✓	✓	✓	X
		C5.2	✓	✓	X	X
		C5.3	✓	X	X	X
排出量データ	スコープ3排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X
		C6.2	✓	✓	X	X
		C6.3	✓	✓	X	X
		C6.4	✓	X	X	X
		C6.4a	✓	✓	✓	X
		C6.5	✓	✓	✓	✓
	追加的気候関連指標 (検証含む)	C6.5a	X	X	X	X
		C-CG6.6	✓	✓	✓	X
		C-CG6.6a	✓	✓	✓	X
		C6.7	✓	X	X	X
スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.7a	✓	✓	X	X	
	C6.8	✓	✓	✓	✓	
	C6.10	✓	✓	✓	X	

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	
排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X	
		C7.1a	✓	✓	X	X	
		C7.2	✓	✓	X	X	
		C7.3	✓	X	X	X	
		C7.3a	✓	✓	X	X	
		C7.3b	✓	✓	X	X	
		C7.3c	✓	✓	X	X	
		C7.5	✓	✓	X	X	
		C7.6	✓	X	X	X	
		C7.6a	✓	✓	X	X	
		C7.6b	✓	✓	X	X	
		C7.6c	✓	✓	X	X	
		C7.9	✓	✓	X	X	
		C7.9a	✓	✓	✓	X	
		C7.9b	✓	✓	X	X	
		C7.9c	✓	✓	X	X	
		追加的気候関連指標 (検証含む)	C-CG7.10	✓	✓	X	X
C-CG7.10a	✓		✓	X	X		
エネルギー	エネルギー	C8.1	✓	✓	X	X	
		C8.2	✓	X	X	X	
		C8.2a	✓	✓	✓	✓	
		C8.2b	✓	X	X	X	
		C8.2c	✓	✓	✓	X	
		C8.2d	✓	✓	✓	✓	
		C8.2e	✓	✓	✓	✓	
		C8.2g	✓	✓	X	X	
		C8.2h	✓	✓	✓	✓	
		C8.2i	✓	✓	X	X	
		C8.2j	X	X	X	X	
		C8.2k	X	X	X	X	
		C8.2l	X	X	X	X	
		C8.2m	X	X	X	X	
		追加的気候関連指標 (検証含む)	C-CG8.5	✓	✓	X	X
		C-CG8.5a	✓	✓	X	X	
		追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X
			C-CG9.6	✓	X	✓	X
		追加的気候関連指標 (検証含む)	C-CG9.6a	✓	✓	✓	X
			C10.1	✓	✓	✓	✓
検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1a	✓	X	✓	✓	
		C10.1b	✓	X	✓	✓	
	スコープ3排出量 (検証含む)	C10.1c	✓	X	✓	✓	
		追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	✓	X
C10.2a	✓	✓	✓	X			
カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.1	✓	X	X	X	
		C11.1a	✓	X	X	X	
		C11.1b	✓	✓	X	X	
		C11.1c	✓	✓	X	X	
		C11.1d	✓	✓	✓	X	
		C11.2	✓	X	X	X	
		C11.2a	✓	X	✓	X	
		C11.3	✓	✓	✓	X	
		C11.3a	✓	✓	✓	X	
		C11.3b	✓	✓	✓	X	
		C12.1	✓	✓	✓	X	
エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1a	✓	✓	✓	✓	
		C12.1b	✓	✓	✓	✓	
		C12.1d	✓	X	✓	X	
		C12.1e	✓	X	✓	✓	
		C12.2	✓	✓	✓	X	
	政策協働	C12.2a	✓	✓	X	✓	
		C12.3	✓	✓	✓	X	
		C12.3a	✓	✓	✓	X	
		C12.3b	✓	✓	✓	X	
		C12.3c	✓	✓	✓	X	
コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓		
生物多様性	生物多様性	C15.1	X	X	X	X	
		C15.2	X	X	X	X	
		C15.3	X	X	X	X	
		C15.4	X	X	X	X	
		C15.5	X	X	X	X	
		C15.6	X	X	X	X	
		C16.1	✓	X	✓	✓	

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2022: 石炭セクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022石炭セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

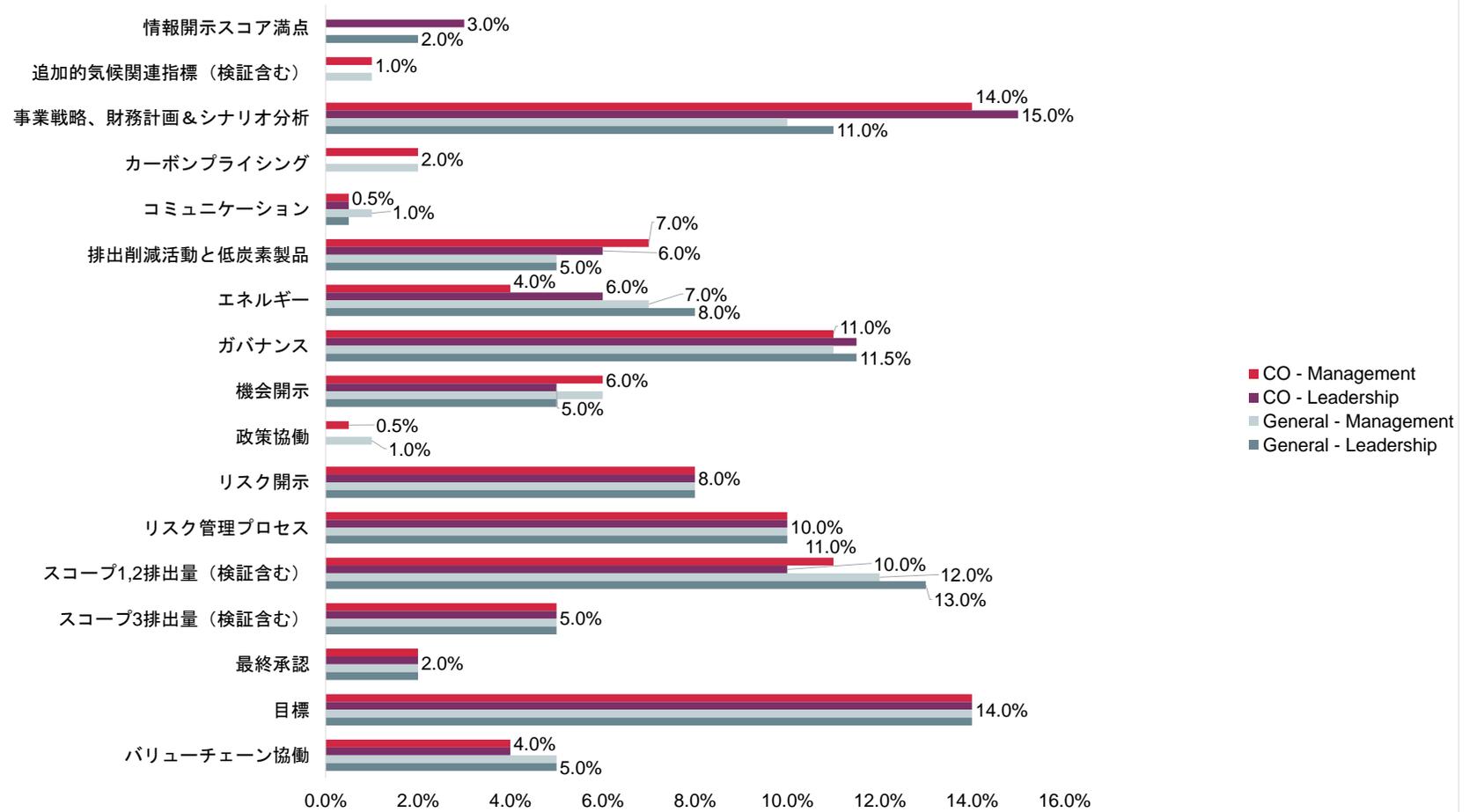
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

石炭:重要なスコアリングカテゴリ

石炭セクターはエネルギー多消費の高排出量セクターです。地球規模での石炭燃焼が大気中の人為的温室効果ガス増加の最大の割合を占め、発電の多くを占めていることから、他の排出削減活動および低炭素製品とともに排出削減目標が特に重要となります。石炭セクターは、天然ガスや再生可能エネルギーとの競合など、下流での使用における規制や市場の圧力の高まりに直面しています。そのため、このセクターの企業は気候変動を事業戦略で考慮し、財務計画評価に含む必要があります。また、環境スチュワードシップの進展している企業は、事業戦略にシナリオ分析を活用するでしょう。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 石炭セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、石炭セクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

石炭スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量データ	スコープ1,2排出量(検証含む)	C6.3	✓	✓	X	X	
	採対象外	C0.2	X	X	X	X			C6.4	✓	X	X	X	
		C0.3	X	X	X	X			C6.4a	✓	✓	✓	X	
		C0.4	X	X	X	X			スコープ3排出量(検証含む)	C6.5	✓	✓	✓	✓
		C0.5	X	X	X	X				C6.5a	X	X	X	X
		C-CO0.7	X	X	X	X			C6.7	✓	X	X	X	
		C0.8	X	X	X	X			スコープ1,2排出量(検証含む)	C6.7a	✓	✓	X	X
		C1.1	✓	✓	X	X				C6.10	✓	✓	✓	X
ガバナンス	ガバナンス	C1.1a	✓	✓	✓	✓	排出量内訳	スコープ1,2排出量(検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X	
		C1.1b	✓	✓	✓	✓			C7.1a	✓	✓	X	X	
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C-CO7.1b	✓	✓	X	X	
		C1.1d	✓	✓	✓	X			C7.2	✓	✓	X	X	
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.3	✓	X	X	X	
		C1.2a	✓	✓	✓	X			C7.3a	✓	✓	X	X	
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.3b	✓	✓	X	X	
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C7.3c	✓	✓	X	X	
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X	エネルギー	エネルギー	C-CO7.4	✓	X	X	X	
		C2.1a	✓	✓	X	X			C7.5	✓	✓	X	X	
		C2.1b	✓	X	✓	X			C7.6	✓	X	X	X	
		C2.2	✓	✓	✓	X			C7.6a	✓	✓	X	X	
		C2.2a	✓	✓	✓	✓			C7.6b	✓	✓	X	X	
		C2.2g	✓	✓	✓	✓			C7.6c	✓	✓	X	X	
	リスク開示	C2.3	✓	X	✓	X			C-CO7.7	✓	X	X	X	
		C2.3a	✓	✓	✓	✓			C7.9	✓	✓	X	X	
		C2.3b	✓	✓	✓	✓			C7.9a	✓	✓	✓	✓	
	機会開示	C2.4	✓	X	✓	X			C7.9b	✓	✓	X	X	
		C2.4a	✓	✓	✓	✓			C8.1	✓	✓	X	X	
		C2.4b	✓	✓	✓	✓			C8.2	✓	X	X	X	
事業戦略	事業戦略、財務計画 & シナリオ分析	C3.1	✓	✓	✓	✓	C8.2a	✓	✓	✓	✓			
		C3.2	✓	✓	✓	✓	C8.2b	✓	X	X	X			
		C3.2a	✓	✓	✓	✓	C8.2c	✓	✓	✓	X			
		C3.2b	✓	✓	✓	X	C8.2d	✓	✓	✓	✓			
		C3.3	✓	✓	X	X	C8.2e	✓	✓	✓	✓			
		C3.4	✓	✓	X	X	C8.2g	✓	✓	X	X			
		C3.5	✓	X	✓	X	C8.2h	✓	✓	✓	✓			
		C3.5a	✓	X	X	X	C8.2i	✓	✓	X	X			
		C4.1	✓	✓	✓	✓	C8.2j	X	X	X	X			
		C4.1a	✓	✓	✓	✓	C8.2k	X	X	X	X			
目標と実績	目標	C4.1b	✓	✓	✓	✓	C8.2l	X	X	X	X			
		C4.1c	✓	✓	✓	✓	C8.2m	X	X	X	X			
		C4.2	✓	X	✓	✓	追加的気候関連指標(検証含む)	C9.1	X	X	X	X		
		C4.2a	✓	✓	✓	X		C-CO9.2a	✓	✓	X	X		
		C4.2b	✓	✓	✓	X		C-CO9.2b	✓	✓	X	X		
		C4.2c	✓	✓	✓	✓		C-CO9.3a	✓	✓	X	X		
	C-CO4.2d	✓	X	✓	X	C-CO9.3b		✓	✓	X	X			
	C4.3	✓	✓	✓	X	C-CO9.3a		✓	✓	X	X			
	排出削減活動と低炭素製品	C4.3a	✓	✓	✓	✓	C-CO9.4a	✓	X	X	X			
		C4.3b	✓	✓	✓	X	C-CO9.6	✓	X	✓	X			
		C4.3c	✓	X	X	X	C-CO9.6a	✓	✓	✓	X			
		C4.3d	✓	X	✓	✓	検証	スコープ1,2排出量(検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓	
		C4.5	✓	X	✓	X			C10.1a	✓	X	✓	✓	
		C4.5a	✓	✓	✓	X			C10.1b	✓	X	✓	✓	
	目標	C-CO4.6	✓	X	✓	X		スコープ3排出量(検証含む)	C10.1c	✓	X	✓	✓	
		C-CO4.7	✓	✓	✓	X			追加的気候関連指標(検証含む)	C10.2	✓	✓	✓	X
		C-CO4.7a	✓	X	✓	X		C10.2a		✓	✓	✓	X	
		C-CO4.8	✓	X	✓	X	カーボンライシニング	カーボンライシニング	C11.1	✓	X	X	X	
排出量算定基準	スコープ1,2排出量(検証含む)	C5.1	✓	X	X	X			C11.1a	✓	X	X	X	
		C5.1a	✓	X	X	X			C11.1b	✓	✓	X	X	
		C5.1b	✓	X	X	X			C11.1c	✓	✓	X	X	
		C5.1c	✓	✓	✓	X			C11.1d	✓	✓	✓	X	
		C5.2	✓	✓	X	X			C11.2	✓	X	X	X	
	排出量データ	C5.3	✓	X	X	X			C11.2a	✓	X	✓	X	
		C6.1	✓	X	X	X			C11.3	✓	✓	✓	X	
		C6.2	✓	✓	X	X	C11.3a	✓	✓	✓	X			

モジュール	スコアリング カテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジ メント	リーダ シップ
エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
		C12.1a	✓	✓	✓	✓
		C12.1b	✓	✓	✓	✓
		C12.1d	✓	X	✓	X
		C12.1e	✓	X	✓	✓
		C12.2	✓	✓	✓	X
	政策協働	C12.2a	✓	✓	X	✓
		C12.3	✓	✓	✓	X
		C12.3a	✓	✓	✓	X
		C12.3b	✓	✓	✓	X
	コミュニケーション	C12.3c	✓	✓	✓	X
		C12.4	✓	X	✓	✓
生物多様性	生物多様性	C15.1	X	X	X	X
		C15.2	X	X	X	X
		C15.3	X	X	X	X
		C15.4	X	X	X	X
		C15.5	X	X	X	X
		C15.6	X	X	X	X
最終承認	最終承認	C15.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2022: 電気事業セクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022電気事業セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

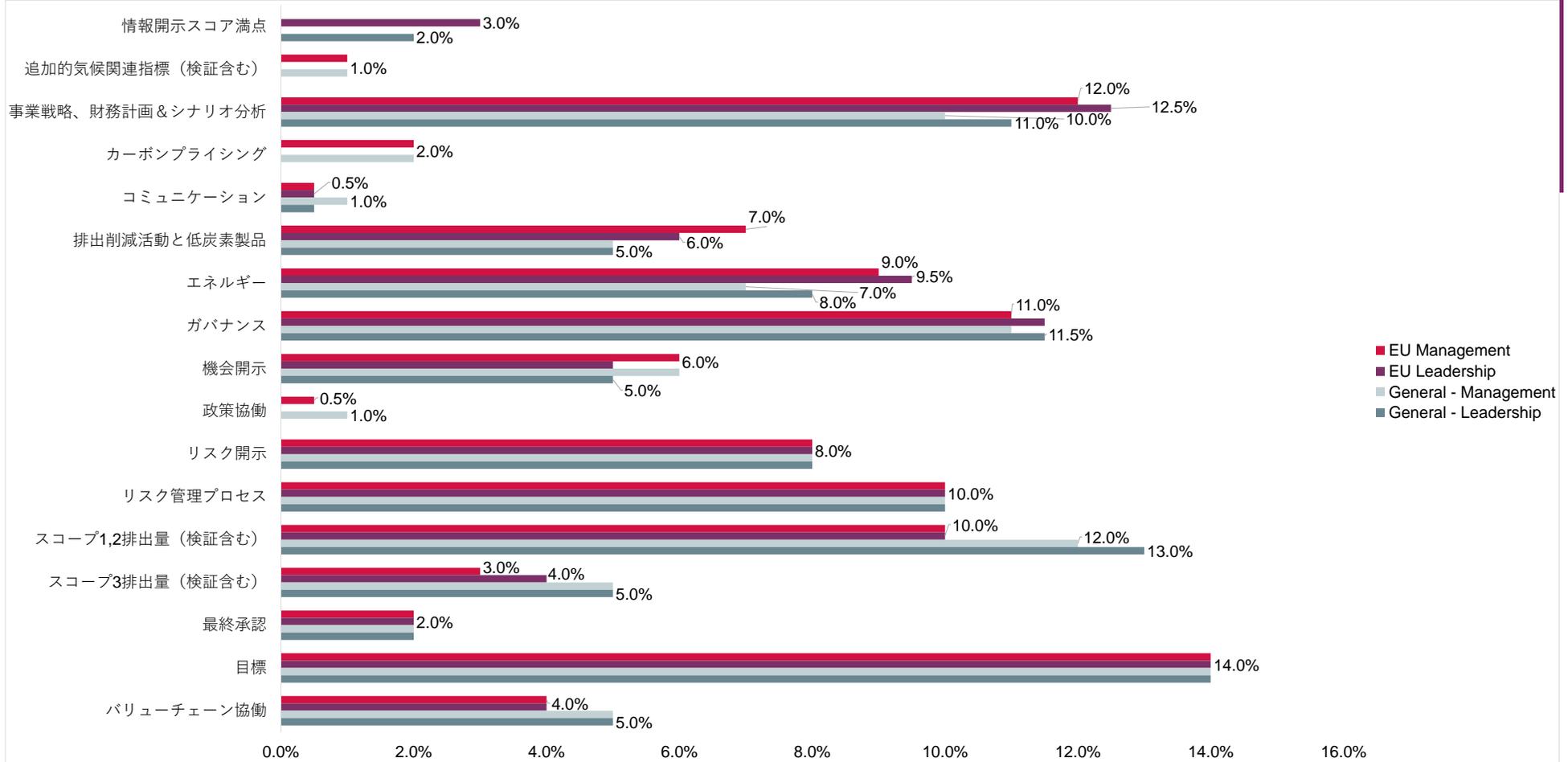
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

電気事業:重要なスコアリングカテゴリ

電気事業セクターはエネルギー多消費の高排出量セクターです。他の排出削減活動および低炭素製品とともに排出削減目標が特に重要となります。発電はCO₂の最大排出源であり、世界全体の排出量の25%を占めていることから、気候変動は、電気事業セクターにとって戦略的問題です。また再生可能エネルギー源の商業化の進展と分散型発電の出現により、電気事業セクターは低炭素エネルギー源への移行を実現する重要な可能性を秘めています。そのため、このセクターの企業は気候変動を事業戦略で考慮し、財務計画評価に含む必要があります。また、環境ステewardシップの進展している企業は、事業戦略にシナリオ分析を活用するでしょう。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 電気事業セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、電気事業セクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

電気事業スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量データ	スコープ3排出量 (検証含む)	C6.5	✓	✓	✓	✓
	探点対象外	C0.2	X	X	X	X			C6.5a	X	X	X	X
		C0.3	X	X	X	X			C6.7	✓	X	X	X
		C0.4	X	X	X	X			C6.7a	✓	✓	X	X
		C0.5	X	X	X	X			C6.10	✓	✓	✓	X
		C-EU0.7	X	X	X	X			C6.7	✓	X	X	X
		C0.8	X	X	X	X			C6.7a	✓	✓	X	X
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X		C6.10	✓	✓	✓	X	
		C1.1a	✓	✓	✓	✓		C7.1	✓	✓	X	X	
		C1.1b	✓	✓	✓	✓		C7.1a	✓	✓	X	X	
		C1.1c	✓	✓	✓	✓		C-EU7.1b	✓	✓	X	X	
		C1.1d	✓	✓	✓	X		C7.2	✓	✓	X	X	
		C1.2	✓	✓	✓	✓		C7.3	✓	X	X	X	
		C1.2a	✓	X	✓	X		C7.3a	✓	✓	X	X	
		C1.3	✓	✓	✓	X	C7.3b	✓	✓	X	X		
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X	C7.3c	✓	✓	X	X		
		C2.1a	✓	✓	X	X	C7.4	✓	X	X	X		
		C2.1b	✓	X	✓	X	C7.5	✓	✓	X	X		
		C2.2	✓	✓	✓	X	C7.6	✓	X	X	X		
		C2.2a	✓	✓	✓	✓	C7.6a	✓	✓	X	X		
	リスク開示	C2.2g	✓	✓	✓	✓	C7.6b	✓	✓	X	X		
		C2.3	✓	X	✓	X	C7.6c	✓	✓	X	X		
		C2.3a	✓	✓	✓	✓	C7.9	✓	✓	X	X		
	機会開示	C2.3b	✓	✓	✓	✓	C7.9a	✓	✓	✓	X		
		C2.4	✓	X	✓	X	C7.9b	✓	✓	X	X		
事業戦略	事業戦略、財務計画 & シナリオ分析	C2.4a	✓	X	X	X	C8.1	✓	✓	X	X		
		C2.4b	✓	✓	✓	✓	C8.2	✓	X	X	X		
		C3.1	✓	✓	✓	✓	C8.2a	✓	✓	X	X		
		C3.2	✓	✓	✓	✓	C8.2b	✓	X	X	X		
		C3.2a	✓	✓	✓	✓	C8.2c	✓	✓	✓	X		
		C3.2b	✓	✓	✓	X	C8.2d	✓	✓	✓	✓		
		C3.3	✓	✓	X	X	C-EU8.2d	✓	✓	✓	✓		
		C3.4	✓	✓	X	X	C8.2e	✓	✓	✓	✓		
		C3.5	✓	X	✓	X	C8.2g	✓	✓	X	X		
		C3.5a	✓	X	X	X	C8.2h	✓	✓	✓	✓		
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	✓	C8.2i	✓	✓	X	X		
		C4.1a	✓	✓	✓	✓	C8.2j	X	X	X	X		
		C4.1b	✓	✓	✓	✓	C8.2k	X	X	X	X		
		C4.1c	✓	✓	✓	✓	C8.2l	X	X	X	X		
		C4.2	✓	X	✓	✓	C8.2m	X	X	X	X		
		C4.2a	✓	✓	✓	X	C-EU8.4	✓	X	X	X		
		C4.2b	✓	✓	✓	X	C-EU8.4a	✓	✓	X	X		
	排出削減活動と低炭素製品	C4.2c	✓	✓	✓	✓	C9.1	X	X	X	X		
		C4.3	✓	✓	✓	X	C-EU9.5a	✓	✓	✓	X		
		C4.3a	✓	✓	✓	✓	C-EU9.5b	✓	✓	X	X		
		C4.3b	✓	✓	✓	X	C-EU9.6	✓	X	✓	X		
		C4.3c	✓	X	X	X	C-EU9.6a	✓	✓	✓	X		
		C4.3d	✓	X	✓	✓	C10.1	✓	✓	✓	✓		
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C4.5	✓	X	✓	X	C10.1a	✓	X	✓	✓		
		C4.5a	✓	✓	✓	X	C10.1b	✓	X	✓	✓		
		C-EU4.6	✓	X	✓	X	C10.1c	✓	X	✓	✓		
		C5.1	✓	X	X	X	追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	✓	X	
		C5.1a	✓	X	X	X	C10.2a	✓	✓	✓	X		
		C5.1b	✓	X	X	X	C11.1	✓	X	X	X		
		C5.1c	✓	✓	✓	X	C11.1a	✓	X	X	X		
排出量データ	排出量データ	C6.1	✓	X	X	X	C11.1b	✓	✓	X	X		
		C6.2	✓	✓	X	X	C11.1c	✓	✓	X	X		
		C6.3	✓	✓	X	X	C11.1d	✓	✓	✓	X		
		C6.4	✓	X	X	X	C11.2	✓	X	X	X		
		C6.4a	✓	✓	✓	X	C11.2a	✓	X	✓	X		
							C11.3	✓	✓	✓	X		
エネルギー	エネルギー						C11.3a	✓	✓	✓	X		
		追加的気候関連指標	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X					
		排出削減活動と低炭素製品	排出削減活動と低炭素製品	C-EU9.5a	✓	✓	✓	X					
				C-EU9.5b	✓	✓	X	X					
				C-EU9.6	✓	X	✓	X					
				C-EU9.6a	✓	✓	✓	X					
		検証	検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓			
						C10.1a	✓	X	✓	✓			
						C10.1b	✓	X	✓	✓			
						C10.1c	✓	X	✓	✓			
						追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	✓	X		
						C10.2a	✓	✓	✓	X			
						C11.1	✓	X	X	X			
		カーボンライティング	カーボンライティング	カーボンライティング	カーボンライティング	C11.1a	✓	X	X	X			
						C11.1b	✓	✓	X	X			
						C11.1c	✓	✓	X	X			
						C11.1d	✓	✓	✓	X			
						C11.2	✓	X	X	X			
						C11.2a	✓	X	✓	X			
						C11.3	✓	✓	✓	X			
						C11.3a	✓	✓	✓	X			

モジュール	スコアリング カテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジ メント	リーダ シップ
エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
		C12.1a	✓	✓	✓	✓
		C12.1b	✓	✓	✓	✓
		C12.1d	✓	X	✓	X
		C12.1e	✓	X	✓	✓
		C12.2	✓	✓	✓	X
	政策協働	C12.2a	✓	✓	X	✓
		C12.3	✓	✓	✓	X
		C12.3a	✓	✓	✓	X
		C12.3b	✓	✓	✓	X
	コミュニケーション	C12.3c	✓	✓	✓	X
		C12.4	✓	X	✓	✓
	生物多様性	生物多様性	C15.1	X	X	X
C15.2			X	X	X	X
C15.3			X	X	X	X
C15.4			X	X	X	X
C15.5			X	X	X	X
C15.6			X	X	X	X
最終承認	最終承認	C15.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2022：石油・ガスセクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022石油・ガスセクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

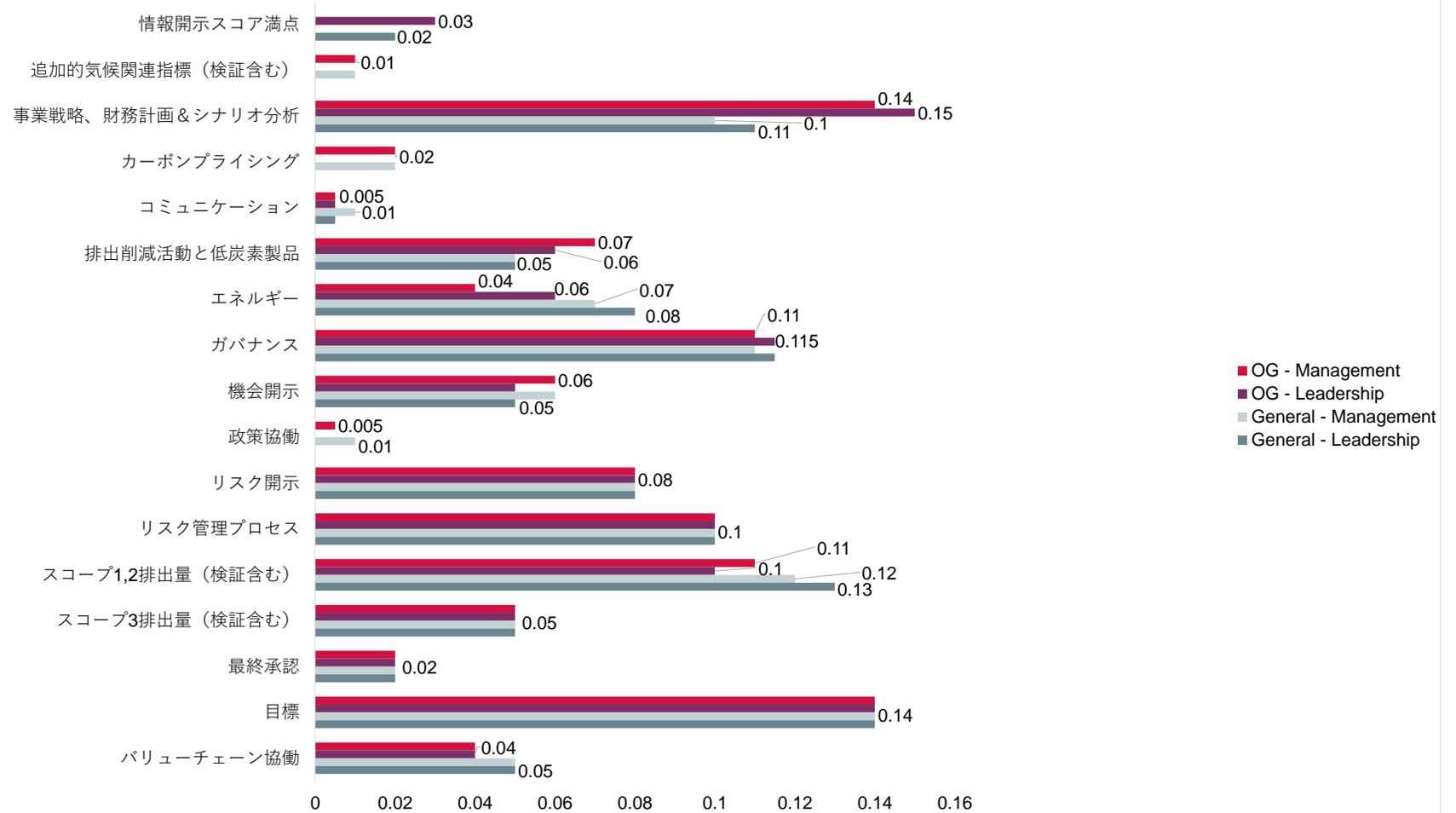
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

石油・ガス：重要なスコアリングカテゴリ

石油・ガスセクターはエネルギー多消費の高排出量セクターです。他の排出削減活動および低炭素製品とともに排出削減目標が特に重要となります。石油・ガスセクターの運用および使用段階の排出量は全体として世界のCO2排出量の半分を占めており、気候変動はこのセクターにとって戦略的なリスクと言えます。そのため、このセクターの企業は気候変動を事業戦略で考慮し、財務計画評価に含む必要があります。また、環境ステewardシップの進展している企業は、事業戦略にシナリオ分析を活用するでしょう。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、“情報開示スコア満点”のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 石油・ガスセクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、石油・ガスセクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

石油・ガススコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ			
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量データ	スコープ1,2排出量（検証含む）	C6.1	✓	X	X	X			
	探点対象外	C0.2	X	X	X	X			C6.2	✓	✓	X	X	X		
		C0.3	X	X	X	X			C6.3	✓	✓	X	X	X		
		C0.4	X	X	X	X			C6.4	✓	X	X	X	X		
		C0.5	X	X	X	X			C6.4a	✓	✓	✓	✓	X		
		C-OG0.7	X	X	X	X			C6.5	✓	✓	✓	✓	✓		
		C0.8	X	X	X	X			C6.5a	X	X	X	X	X		
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X		スコープ1,2排出量（検証含む）	C6.7	✓	X	X	X			
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C6.7a	✓	✓	X	X			
		C1.1b	✓	✓	✓	✓			C6.10	✓	✓	✓	X			
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C-OG6.12	✓	✓	✓	X			
		C1.1d	✓	✓	✓	X			C-OG6.13	✓	✓	X	X			
		C1.2	✓	✓	✓	✓			排出量内訳	スコープ1,2排出量（検証含む）	C7.1	✓	✓	X	X	
		C1.2a	✓	X	✓	X		C7.1a			✓	✓	X	X		
		C1.3	✓	✓	✓	X	C-OG7.1b	✓			✓	X	X			
		C1.3a	✓	✓	✓	✓	C7.2	✓			✓	X	X			
		リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X			C7.3	✓	X	X	X	
C2.1a	✓			✓	X	X	C7.3a	✓			✓	X	X			
C2.1b	✓			X	✓	X	C7.3b	✓			✓	X	X			
C2.2	✓			✓	✓	✓	C7.3c	✓			✓	X	X			
C2.2a	✓			✓	✓	✓	C-OG7.4	✓			X	X	X			
リスク開示	C2.2b		✓	✓	✓	✓	C7.5	✓			✓	X	X			
	C2.2c		✓	✓	✓	✓	C7.6	✓			X	X	X			
	C2.2d		✓	✓	✓	✓	C7.6a	✓			✓	X	X			
機会開示	C2.3		✓	X	✓	X	C7.6b	✓			✓	X	X			
	C2.3a		✓	✓	✓	✓	C7.6c	✓			✓	X	X			
	C2.3b	✓	✓	✓	✓	C-OG7.7	✓	X	X	X						
	C2.4	✓	X	✓	X	C7.9	✓	✓	X	X						
	C2.4a	✓	✓	✓	✓	C7.9a	✓	✓	✓	X						
事業戦略	事業戦略、財務計画&シナリオ分析	C2.4b	✓	✓	✓	✓	C7.9b	✓	✓	X	X					
		C3.1	✓	✓	✓	✓	C8.1	✓	✓	X	X					
		C3.2	✓	✓	✓	✓	C8.2	✓	X	X	X					
		C3.2a	✓	✓	✓	✓	C8.2a	✓	✓	✓	✓					
		C3.2b	✓	✓	✓	X	C8.2b	✓	X	X	X					
		C3.3	✓	✓	X	X	C8.2c	✓	✓	✓	X					
		C3.4	✓	✓	X	X	C8.2d	✓	✓	✓	✓					
目標と実績	目標	C3.5	✓	X	✓	X	エネルギー	エネルギー	C8.2e	✓	✓	✓	✓			
		C3.5a	✓	X	X	X			C8.2g	✓	✓	X	X			
		C4.1	✓	✓	✓	✓			C8.2h	✓	✓	✓	✓			
		C4.1a	✓	✓	✓	✓			C8.2i	✓	✓	X	X			
		C4.1b	✓	✓	✓	✓			C8.2j	X	X	X	X			
		C4.1c	✓	✓	✓	✓			C8.2k	X	X	X	X			
		C4.2	✓	X	✓	✓			C8.2l	X	X	X	X			
		C4.2a	✓	✓	✓	X			C8.2m	X	X	X	X			
	目標と実績	排出削減活動と低炭素製品	C4.2b	✓	✓	✓			X	追加的気候関連指標	追加的気候関連指標（検証含む）	C9.1	X	X	X	X
			C4.2c	✓	✓	X			X			C-OG9.2a	✓	✓	X	X
			C-OG4.2d	✓	X	✓			X			C-OG9.2b	✓	✓	X	X
			C4.3	✓	✓	✓			✓			C-OG2c	✓	X	X	X
			C4.3a	✓	✓	✓			✓			C-OG9.2d	✓	X	X	X
			C4.3b	✓	✓	✓			X			C-OG9.2e	✓	✓	X	X
			C4.3c	✓	X	X			X			C-OG9.3a	✓	X	X	X
			C4.3d	✓	X	✓			✓			C-OG9.3b	✓	X	X	X
			C4.5	✓	X	✓			X			C-OG9.3c	✓	✓	X	X
排出量算定基準	スコープ1,2排出量（検証含む）	C-OG4.6	✓	X	✓	X	C-OG9.3d	✓	✓			X	X			
		C-OG4.7	✓	✓	✓	X	C-OG9.3e	✓	✓			X	X			
		C-OG4.7a	✓	X	✓	X	C-OG9.6	✓	X			✓	X			
		C-OG4.7b	✓	X	✓	X	C-OG9.6a	✓	✓			✓	X			
		C-OG4.8	✓	X	✓	X	C-OG9.7	✓	X			X	X			
		C5.1	✓	X	X	X	C-OG9.8	✓	X	X	X					
		C5.1a	✓	X	X	X	C-OG9.8a	✓	✓	X	X					
		C5.1b	✓	X	X	X	C-OG9.8b	✓	✓	X	X					
		C5.1c	✓	✓	✓	X	C-OG9.8c	✓	X	X	X					
		C5.2	✓	✓	X	X										
C5.3	✓	X	X	X												

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓
		C10.1a	✓	X	✓	✓
		C10.1b	✓	X	✓	✓
	スコープ3排出量 (検証含む)	C10.1c	✓	X	✓	✓
		追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	✓
		C10.2a	✓	✓	✓	X
カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.1	✓	X	X	X
		C11.1a	✓	X	X	X
		C11.1b	✓	✓	X	X
		C11.1c	✓	✓	X	X
		C11.1d	✓	✓	✓	X
		C11.2	✓	X	X	X
		C11.2a	✓	X	✓	X
		C11.3	✓	✓	✓	X
		C11.3a	✓	✓	✓	X
エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
		C12.1a	✓	✓	✓	✓
		C12.1b	✓	✓	✓	✓
		C12.1d	✓	X	✓	X
		C12.1e	✓	X	✓	✓
		C12.2	✓	✓	✓	X
	C12.2a	✓	✓	X	✓	
	政策協働	C12.3	✓	✓	✓	X
		C12.3a	✓	✓	✓	X
		C12.3b	✓	✓	✓	X
C12.3c	✓	✓	✓	X		
コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓	
生物多様性	生物多様性	C15.1	X	X	X	X
		C15.2	X	X	X	X
		C15.3	X	X	X	X
		C15.4	X	X	X	X
		C15.5	X	X	X	X
		C15.6	X	X	X	X
最終承認	最終承認	C16.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2022: 金融サービスセクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022金融サービスセクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

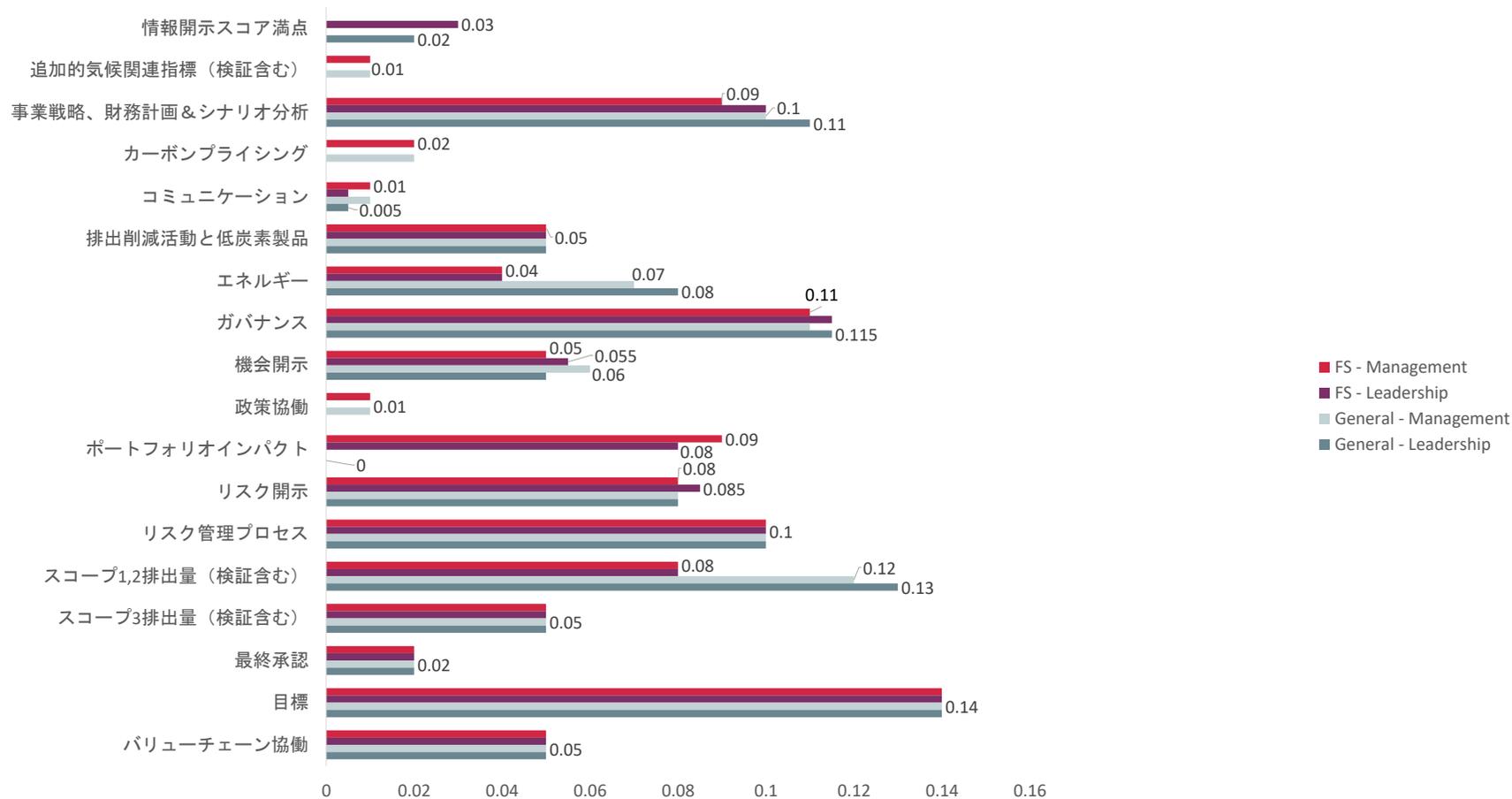
スコアリングカテゴリとウェイト: 概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

2022スコアリングカテゴリ

金融サービスセクターの活動には、銀行貸出、投資(資産管理/資産所有)、および保険引受が含まれます。気候関連財務情報開示に関するタスクフォース(TCFD)の勧告は、気候関連財務情報開示の作成者としての、金融セクターの重要な役割を強調しています。本セクターの開示により、投資家、中央銀行、規制当局/監督者、およびその他の関連する利害関係者は、金融セクターにおける炭素関連資産の集中度合や、気候関連リスクに対する金融システムのエクスポージャーをよりよく理解できるようになります。したがって、TCFDは、低炭素経済への移行に資金を提供するための資本のリダイレクトを奨励するために、金融機関のポートフォリオに焦点を当てています。情報開示の焦点を運用活動のみならず、資金調達による排出量にシフトする必要があります。「ポートフォリオインパクト」カテゴリが新たに追加されました。

スコアリングカテゴリとウェイト: 金融サービスセクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、金融サービスセクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

金融サービススコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ		
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量算定基準	排出量データ	C5.2	✓	✓	X	X		
	探点対象外	C0.2	X	X	X	X			C5.3	✓	X	X	X		
		C0.3	X	X	X	X			C6.1	✓	X	X	X		
		C0.4	X	X	X	X			C6.2	✓	✓	X	X		
		C0.5	X	X	X	X			C6.3	✓	✓	X	X		
		C-FS0.7	X	X	X	X			C6.4	✓	X	X	X		
C0.8		X	X	X	X	C6.4a	✓	✓	✓	X					
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X	排出量内訳	エネルギー	C6.5	✓	✓	X	✓		
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C6.5a	X	X	X	X		
		C1.1b	✓	✓	✓	✓			C6.10	✓	✓	✓	X		
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.9	✓	✓	X	X		
		C1.1d	✓	✓	✓	X			C7.9a	✓	✓	✓	X		
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.9b	✓	✓	X	X		
		C1.3	✓	✓	✓	X			C8.1	✓	✓	X	X		
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C8.2	✓	X	X	X		
		C-FS1.4	✓	✓	✓	X			C8.2a	✓	✓	✓	✓		
		C2.1	✓	✓	X	X			C8.2g	✓	✓	X	X		
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1a	✓	✓	X	X	C8.2h	✓	✓	✓	✓				
		C2.1b	✓	X	✓	X	C8.2i	✓	✓	X	X				
		C2.2	✓	✓	✓	X	C8.2j	X	X	X	X				
		C2.2a	✓	✓	✓	✓	C8.2k	X	X	X	X				
		C-FS2.2b	✓	✓	✓	✓	C8.2l	X	X	X	X				
		C-FS2.2c	✓	✓	✓	✓	C8.2m	X	X	X	X				
		C-FS2.2d	✓	✓	✓	✓	検証	エネルギー	C9.1	X	X	X	X		
		C-FS2.2e	✓	✓	X	X			C10.1	✓	✓	✓	✓		
		C2.2g	✓	✓	✓	✓			C10.1a	✓	X	✓	✓		
		C2.3	✓	X	✓	X			C10.1b	✓	X	✓	✓		
リスク開示	リスク開示	C2.3a	✓	✓	✓	✓			C10.1c	✓	X	✓	✓		
		C2.3b	✓	✓	✓	✓			C10.2	✓	✓	✓	X		
		機会開示	機会開示	C2.4	✓	X			✓	X	C10.2a	✓	✓	✓	X
				C2.4a	✓	✓			✓	✓	C11.2	✓	X	X	X
C2.4b	✓	✓	✓	✓	C11.2a	✓			X	✓	X				
事業戦略	事業戦略、財務計画 & シナリオ分析	C3.1	✓	✓	✓	✓			C11.3	✓	✓	✓	X		
		C3.2	✓	✓	✓	✓	C11.3a	✓	✓	✓	X				
		C3.2a	✓	✓	✓	✓	C12.1	✓	✓	✓	X				
		C3.2b	✓	✓	✓	X	C12.1a	✓	✓	✓	✓				
		C3.3	✓	✓	X	X	C-FS12.1b	✓	✓	✓	✓				
		C3.4	✓	✓	X	X	C-FS12.1c	✓	✓	✓	✓				
		C3.5	✓	X	✓	X	C12.1d	✓	X	✓	X				
		C3.5a	✓	X	X	X	C12.1e	✓	X	✓	✓				
		C-FS3.6	✓	✓	✓	✓	C-FS12.2	✓	✓	✓	X				
		C-FS3.6a	✓	✓	✓	✓	C-FS12.2a	✓	✓	✓	X				
エンゲージメント	エンゲージメント	C-FS3.6b	✓	✓	✓	X	C12.3	✓	✓	✓	X				
		C-FS3.6c	✓	X	X	X	C12.3a	✓	✓	✓	X				
		C-FS3.7	✓	✓	✓	X	C12.3b	✓	✓	✓	X				
		C-FS3.7a	✓	✓	X	X	C12.3c	✓	✓	✓	X				
		C-FS3.8	✓	✓	✓	X	C12.4	✓	X	✓	✓				
		C-FS3.8a	✓	✓	X	X	コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓			
		目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	✓	ポートフォリオインパクト	ポートフォリオインパクト	C-FS14.0	✓	✓	✓	✓
				C4.1a	✓	✓	✓	✓			C-FS14.1	✓	✓	✓	✓
				C4.1b	✓	✓	✓	✓			C-FS14.1a	✓	✓	✓	X
				C4.1c	✓	✓	✓	✓			C-FS14.1b	✓	✓	✓	X
C-FS4.1d	✓			✓	✓	X	C-FS14.2	✓			✓	X	X		
C4.2	✓			X	✓	X	C-FS14.2a	✓			✓	X	X		
C4.2a	✓			✓	✓	X	C-FS14.2b	✓			✓	X	X		
C4.2b	✓			✓	✓	X	C-FS14.2c	✓			✓	X	X		
C4.2c	✓			✓	X	X	C-FS14.2d	✓			✓	X	X		
C4.3	✓			✓	✓	X	C-FS14.3	✓			✓	✓	✓		
排出量算定基準	排出削減活動と低炭素製品	C4.3a	✓	✓	✓	✓	生物多様性	生物多様性	C15.1	X	X	X	X		
		C4.3b	✓	✓	✓	X			C15.2	X	X	X	X		
		C4.3c	✓	X	X	X			C15.3	X	X	X	X		
		C4.3d	✓	X	✓	✓			C15.4	X	X	X	X		
		C-FS4.5	✓	X	✓	X			C15.5	X	X	X	X		
		C-FS4.5a	✓	✓	✓	X			C15.6	X	X	X	X		
		C5.1	✓	X	X	X			最終承認	最終承認	C16.1	✓	X	✓	✓
		C5.1a	✓	X	X	X									
		C5.1b	✓	X	X	X									
		C5.1c	✓	✓	✓	✓			X						

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2022: 金融サービス – フォレスト&水セキュリティ スコアリング基準 カテゴリとウェイト

このサマリーシートは、CDP2022年気候変動質問書 金融サービス – フォレスト&水セキュリティ – 回答企業に向けて、CDP2022スコアリングカテゴリとウェイトの概要を示しています。このモジュールは、気候変動 金融サービスセクター向け質問書の一部で構成されます。もし御社が別のセクター別質問書または一般セクター向け質問書に回答する場合は、それらに該当する資料を別途参照ください。なお、本資料を読む前に、CDP2022スコアリングイントロダクションを読むことを推奨しております。

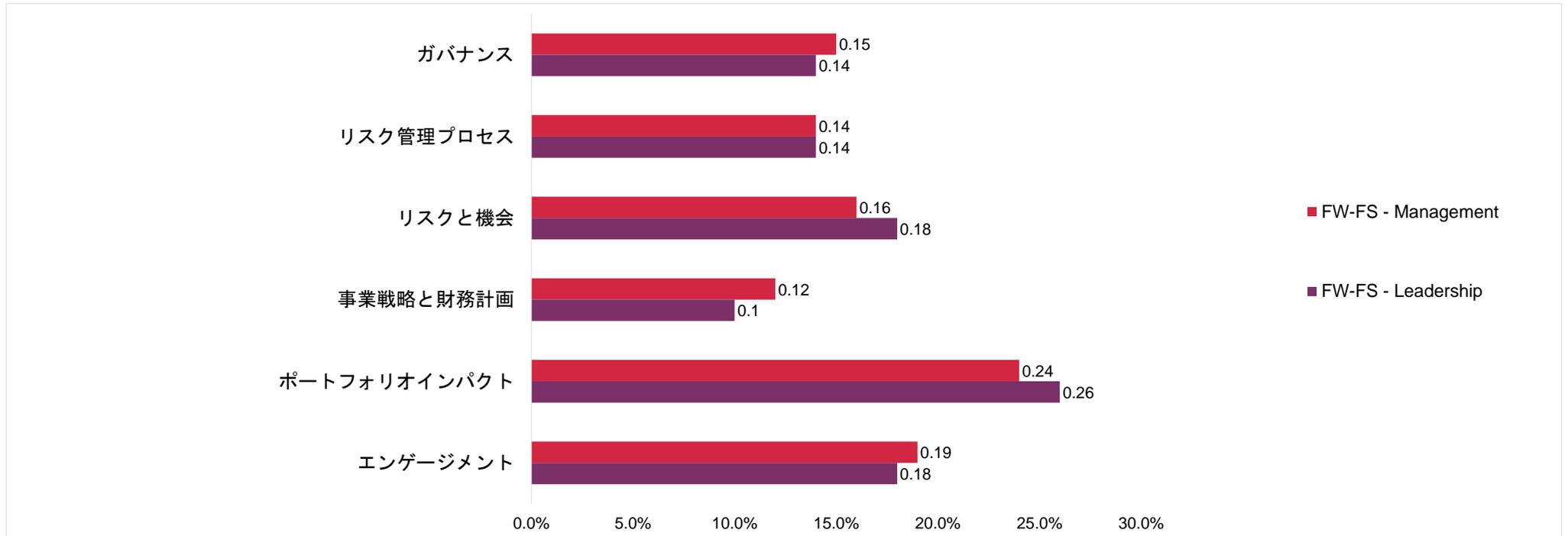
スコアリングカテゴリとウェイト:概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なり、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

金融サービス: スコアリングカテゴリ

金融機関の自然への影響や自然関連リスクは、ほとんどの場合より広い経済圏での融資や保険等の活動から生じます。したがって金融機関は、自然に対して重大な影響や依存性を持つ経済セクターへの融資、投資、保険を行っている場合にのみ、フォレストと水セキュリティに関連する情報を報告するよう要請されます。金融サービスセクターの活動には、銀行融資、投資(資産運用や資産所有)、保険引受が含まれます。企業は、森林関連情報と水関連情報を同じ設問で報告することができますが、2022年においては森林関連情報のみが採点対象となる予定です。この情報は、気候変動への対応とは別に評価され、フォレストの評価は非公開となる。このモジュールのカテゴリにおいても森林関連情報のみに適用され、金融機関のポートフォリオにおける森林関連問題への様々なアクションの重要性を表している。

スコアリングカテゴリとウェイト: 金融サービス – フォレスト&水セキュリティ – スコアリング基準



The bar chart above shows the % weighting applied to each of the scoring categories at Management and Leadership levels for the financial services - forests & water module 2022 scoring methodology. Please note that only forests-related information is scored using these categories and weightings.

スコアリングカテゴリ 金融サービス - フォレスト&水セキュリティ - : 各モジュールと質問のマッピング

森林関連の情報のみがカテゴリとウェイトを用いて評価されます。

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
FW-FS ガバナンス	ガバナンス	FW-FS1.1	✓	✓	✓	X
		FW-FS1.1a	✓	✓	✓	✓
		FW-FS1.1b	✓	✓	✓	✓
		FW-FS1.1c	✓	✓	✓	X
		FW-FS1.2	✓	✓	✓	✓
FW-FSリスクと機会	リスク管理プロセス	FW-FS2.1	✓	✓	✓	X
		FW-FS2.1a	✓	✓	✓	✓
		FW-FS2.2	✓	✓	✓	✓
		FW-FS2.2a	✓	✓	X	X
	リスクと機会	FW-FS2.3	✓	✓	✓	X
		FW-FS2.3a	✓	✓	✓	✓
		FW-FS2.4	✓	✓	✓	X
FW-FS 事業戦略	事業戦略と財務計画	FW-FS2.4a	✓	✓	✓	✓
		FW-FS3.1	✓	✓	✓	✓
		FW-FS3.2	✓	✓	✓	X
		FW-FS3.3	✓	✓	✓	X
	ポートフォリオインパクト	FW-FS3.3a	✓	✓	✓	X
		FW-FS3.4	✓	✓	✓	X
		FW-FS3.4a	✓	✓	✓	✓
		FW-FS3.5	✓	✓	✓	X
FW-FS エンゲージメント	エンゲージメント	FW-FS4.1	✓	✓	✓	X
		FW-FS4.1a	✓	✓	✓	✓
		FW-FS4.1b	✓	✓	✓	✓
		FW-FS4.2	✓	✓	✓	X
		FW-FS4.3	✓	✓	X	X
		FW-FS4.3a	✓	✓	✓	✓
		FW-FS4.4	✓	X	X	X
FW-FS4.4a	✓	✓	✓	X		
FW-FS ポートフォリオインパクト	ポートフォリオインパクト	FW-FS5.1	✓	✓	✓	X
		FW-FS5.2	✓	X	✓	X
		FW-FS5.2a	✓	✓	✓	X
		FW-FS5.2b	✓	✓	✓	✓
FW-FS コミュニケーション	採点対象外(マネジメントレベルとリーダーシップレベル)	FW-FS6.1	X	X	X	X

Category mapping key

✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問

気候変動質問書2022: セメントセクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022セメントセクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

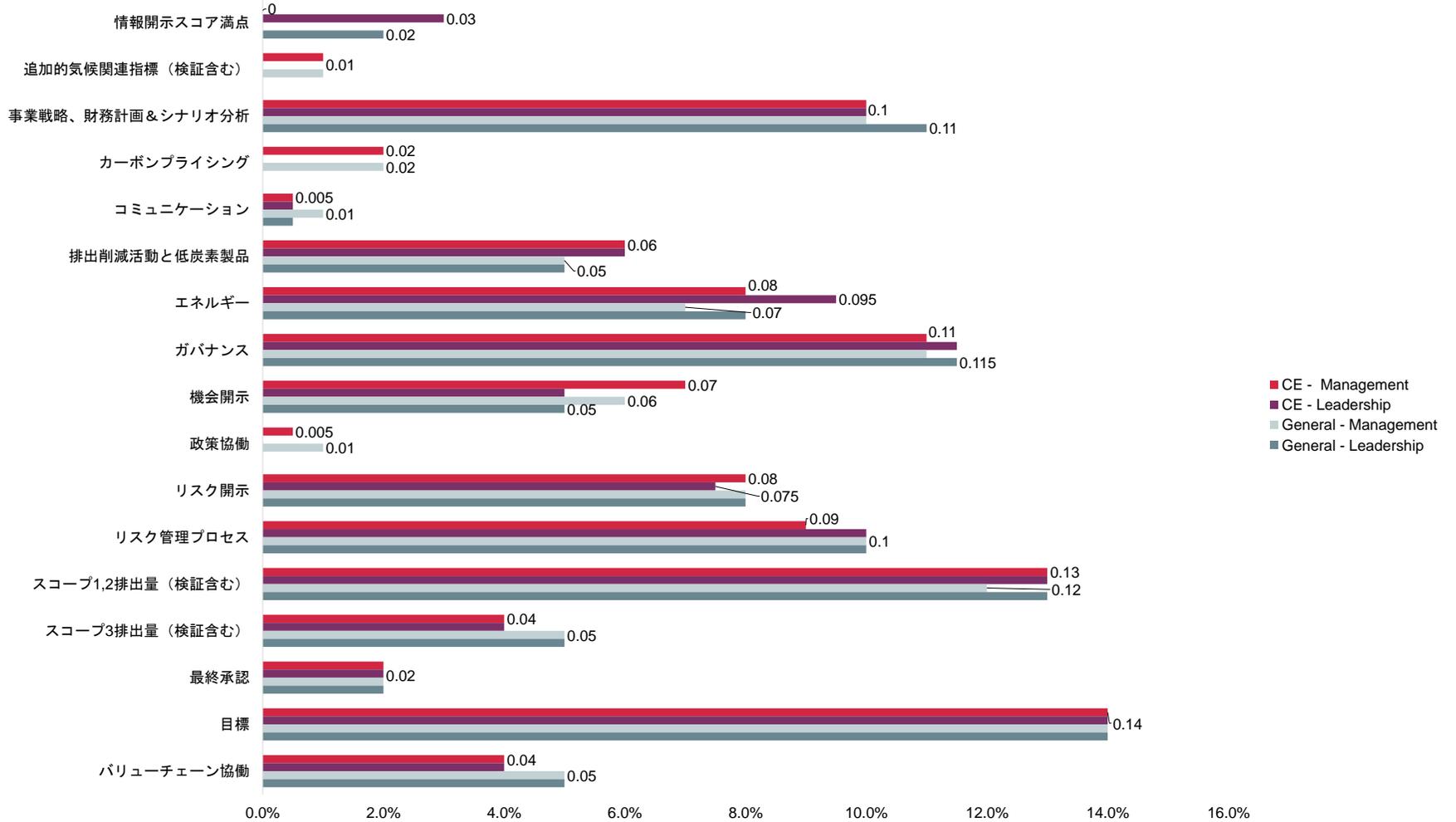
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

セメント:重要なスコアリングカテゴリ

セメント生産はエネルギー多消費のプロセスです。セメント生産時のGHG排出の多くは、主要な原材料を加熱するのに必要な化石燃料の燃焼に由来します。さらに、製造時のプロセス排出として、多くのCO₂が排出されます。従って、エネルギー消費や発電の内訳、排出量算定、排出実績や第三者検証といったことが特に重要な項目となります。エネルギー効率化、燃料転換、クリーンカー含有量の削減、仮焼炉および予熱技術により効率的な乾式プロセスキルンへの移行といった排出削減活動や低カーボン製品の導入がセメントセクターの排出削減に繋がります。このセクターの企業は気候変動を事業戦略で考慮する必要があります。また、環境ステewardシップの進展している企業は、事業戦略にシナリオ分析を活用するでしょう。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: セメントセクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、セメントセクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

セメントスコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量データ	スコープ1,2排出量(検証含む)	C6.7	✓	X	X	X	
	採点対象外	C0.2	X	X	X	X			C6.7a	✓	✓	X	X	
		C0.3	X	X	X	X			C6.10	✓	✓	✓	X	
		C0.4	X	X	X	X			C-CE6.11	✓	✓	X	X	
		C0.5	X	X	X	X			C7.1	✓	✓	X	X	
		C-CE0.7	X	X	X	X			C7.1a	✓	✓	X	X	
C0.8	X	X	X	X	C7.2	✓	✓	X	X					
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X	排出量内訳	スコープ1,2排出量(検証含む)	C7.3	✓	X	X	X	
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C7.3a	✓	✓	X	X	
		C1.1b	✓	✓	✓	✓			C7.3b	✓	✓	X	X	
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.3c	✓	✓	X	X	
		C1.1d	✓	✓	✓	✓			X	C-CE7.4	✓	X	X	X
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.5	✓	✓	X	X	
		C1.2a	✓	X	✓	✓			X	C7.6	✓	X	X	X
		C1.3	✓	✓	✓	✓			X	C7.6a	✓	✓	X	X
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			X	C7.6b	✓	✓	X	X
		C1.3b	✓	✓	✓	✓			X	C7.6c	✓	✓	X	X
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X	エネルギー	エネルギー	C-CE7.7	✓	X	X	X	
		C2.1a	✓	✓	X	X			C7.9	✓	✓	X	X	
		C2.1b	✓	X	✓	X			C7.9a	✓	✓	✓	X	
		C2.2	✓	✓	✓	✓			C7.9b	✓	✓	X	X	
		C2.2a	✓	✓	✓	✓			C8.1	✓	✓	X	X	
	C2.2g	✓	✓	✓	✓	C8.2			✓	X	X	X		
	リスク開示	C2.3	✓	X	✓	X			C8.2a	✓	✓	✓	✓	
		C2.3a	✓	✓	✓	✓			C-CE8.2a	✓	✓	X	X	
		C2.3b	✓	✓	✓	✓			C8.2b	✓	X	X	X	
		機会開示	C2.4	✓	X	✓			X	C8.2c	✓	✓	✓	X
C2.4a			✓	✓	✓	✓	C-CE8.2c	✓	✓	✓	X			
C2.4b	✓		✓	✓	✓	C8.2d	✓	✓	✓	✓				
事業戦略	事業戦略、財務計画&シナリオ分析	C3.1	✓	✓	✓	✓	C-CE8.2d	✓	✓	X	X			
		C3.2	✓	✓	✓	✓	C8.2e	✓	✓	✓	✓			
		C3.2a	✓	✓	✓	✓	C8.2g	✓	✓	X	X			
		C3.2b	✓	✓	✓	✓	X	C8.2h	✓	✓	✓	✓		
		C3.3	✓	✓	X	X	C8.2i	✓	✓	X	X			
		C3.4	✓	✓	X	X	C8.2j	X	X	X	X			
		C3.5	✓	X	✓	X	C8.2k	X	X	X	X			
		C3.5a	✓	X	X	X	C8.2l	X	X	X	X			
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	✓	追加的気候関連指標 (検証含む)	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X	
		C4.1a	✓	✓	✓	✓			C-CE9.6	✓	X	✓	X	
		C4.1b	✓	✓	✓	✓		排出削減活動と低カーボン製品	C-CE9.6a	✓	✓	✓	X	
		C4.1c	✓	✓	✓	✓			C10.1	✓	✓	✓	✓	
		C4.2	✓	X	✓	✓			C10.1a	✓	X	✓	✓	
	C4.2a	✓	✓	✓	X	検証	スコープ1,2排出量(検証含む)	C10.1b	✓	X	✓	✓		
	C4.2b	✓	✓	✓	X			スコープ3排出量(検証含む)	C10.1c	✓	X	✓	✓	
	C4.2c	✓	✓	✓	✓				追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	✓	X
	排出削減活動と低炭素製品	C4.3	✓	✓	✓	X	C10.2a	✓		✓	✓	X		
		C4.3a	✓	✓	✓	✓	カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.1	✓	X	X	X	
C4.3b		✓	✓	X	X	C11.1a			✓	X	X	X		
C4.3c		✓	✓	X	X	C11.1b			✓	✓	X	X		
C4.3d		✓	X	✓	✓	C11.1c			✓	✓	X	X		
C4.5	✓	X	✓	X	C11.1d	✓			✓	✓	X			
C4.5a	✓	✓	✓	X	C11.2	✓			X	X	X			
C-CE4.9	✓	X	X	X	C11.2a	✓			X	✓	X			
排出量算定基準	スコープ1,2排出量(検証含む)	C5.1	✓	X	X	X			C11.3	✓	✓	✓	X	
		C5.1a	✓	X	X	X			C11.3a	✓	✓	✓	X	
		C5.1b	✓	X	X	X			C12.1	✓	✓	✓	X	
		C5.1c	✓	✓	✓	X	エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1a	✓	✓	✓	✓	
		C5.2	✓	✓	X	X			C12.1b	✓	✓	✓	✓	
C5.3	✓	X	X	X	C12.1d	✓			X	✓	X			
C6.1	✓	X	X	X	C12.1e	✓			X	✓	✓			
C6.2	✓	✓	X	X	C12.2	✓			✓	✓	X			
排出量データ	スコープ3排出量(検証含む)	C6.3	✓	✓	X	X	C12.2a	✓	✓	X	✓			
		C6.4	✓	X	X	X								
		C6.4a	✓	✓	✓	✓								
		C6.5	✓	✓	✓	✓								
		C6.5a	X	X	X	X								

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
エンゲージメント	政策協働	C12.3	✓	✓	✓	×
		C12.3a	✓	✓	✓	×
		C12.3b	✓	✓	✓	×
		C12.3c	✓	✓	✓	×
	コミュニケーション	C12.4	✓	×	✓	✓
生物多様性	生物多様性	C15.1	×	×	×	×
		C15.2	×	×	×	×
		C15.3	×	×	×	×
		C15.4	×	×	×	×
		C15.5	×	×	×	×
		C15.6	×	×	×	×
最終承認	最終承認	C16.1	✓	×	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
×	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2022: 化学セクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022化学セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

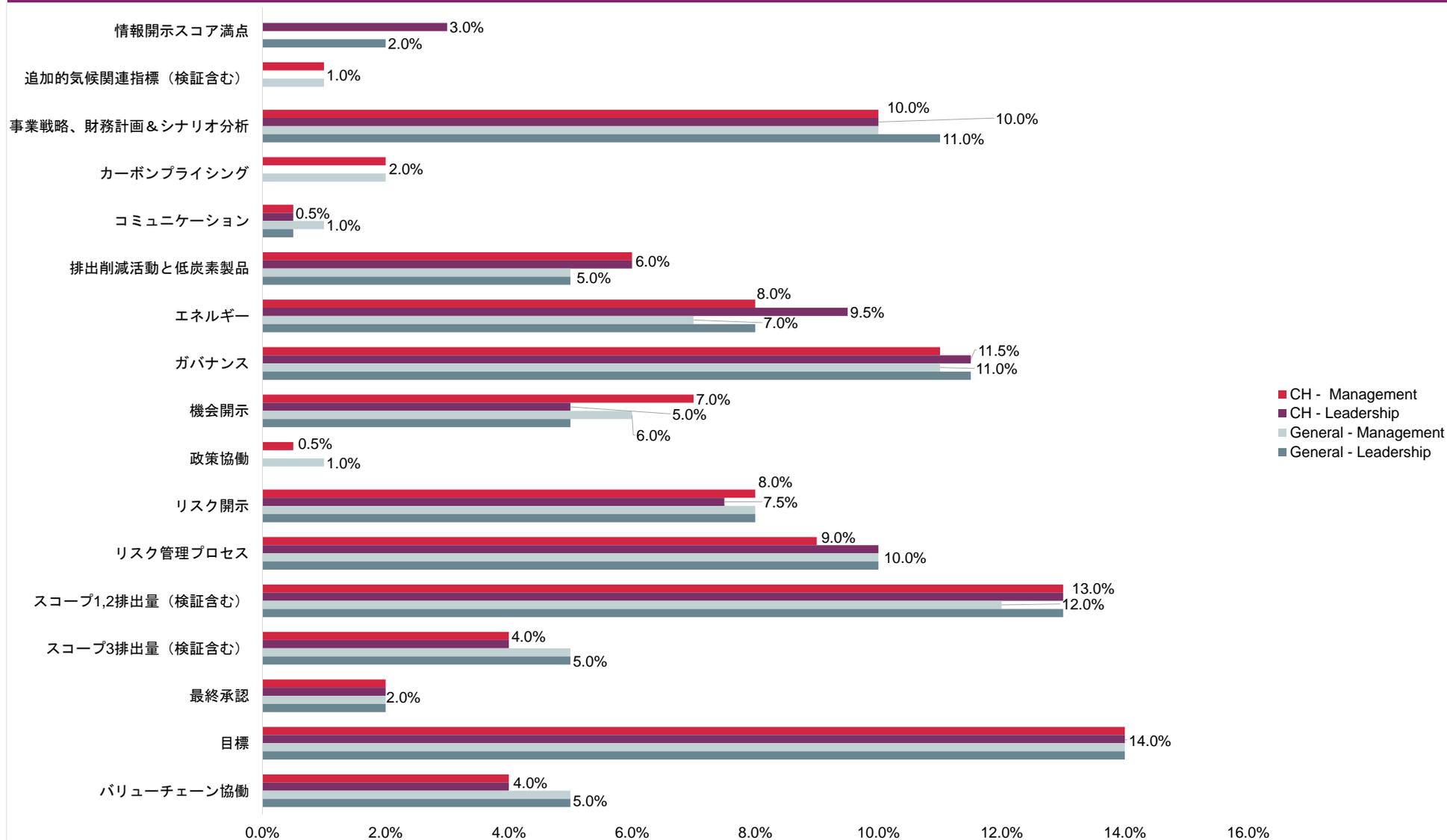
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

化学:重要なスコアリングカテゴリ

化学セクターは多様であり、非常に多様な製品を生み出しています。化学セクターの排出量の大部分は、製造工程での化石燃料の燃焼、または製造工程での化学物質の排出に由来します。エネルギー消費量とその内訳、排出量算定、排出実績と第三者検証は、このセクターの企業にとって特に重要です。プロセスの再設計、コージェネレーションによる熱生産効率の向上、燃料転換といった排出削減活動や低カーボン製品の導入は、このセクターの排出削減に繋がります。使用する原材料によっては、このセクターでは上流からの排出量が多いため、化石燃料からバイオ燃料への原料の切り替えによっても排出量が大幅に削減される可能性があります。このセクターの企業は気候変動と低炭素移行計画を事業戦略で考慮する必要があります。また、環境スチュワードシップの進展している企業は、事業戦略にシナリオ分析を活用するでしょう。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 化学セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、化学セクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

化学スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量データ	スコープ3排出量（検証含む）	C6.5	✓	✓	✓	✓	
	採点対象外	C0.2	X	X	X	X			C6.5a	X	X	X	X	
		C0.3	X	X	X	X			C6.7	✓	X	X	X	
		C0.4	X	X	X	X		スコープ1,2排出量（検証含む）	C6.7a	✓	✓	X	X	
		C0.5	X	X	X	X			C6.10	✓	✓	✓	X	
		C-CH0.7	X	X	X	X			C7.1	✓	✓	X	X	
		C0.8	X	X	X	X			C7.1a	✓	✓	X	X	
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X	C7.2	✓	✓	X	X			
		C1.1a	✓	✓	✓	✓	C7.3	✓	X	X	X			
		C1.1b	✓	✓	✓	✓	C7.3a	✓	✓	X	X			
		C1.1c	✓	✓	✓	✓	C7.3b	✓	✓	X	X			
		C1.1d	✓	✓	✓	X	スコープ1,2排出量（検証含む）	C7.3c	✓	✓	X	X		
		C1.2	✓	✓	✓	✓		C-CH7.4	✓	X	X	X		
		C1.2a	✓	X	✓	X		C7.5	✓	✓	X	X		
		C1.3	✓	✓	✓	X		C7.6	✓	X	X	X		
		C1.3a	✓	✓	✓	✓		C7.6a	✓	✓	X	X		
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X		C7.6b	✓	✓	X	X		
		C2.1a	✓	✓	X	X		C7.6c	✓	✓	X	X		
		C2.1b	✓	X	✓	X		C-CH7.7	✓	X	X	X		
		C2.2	✓	✓	✓	✓		スコープ3排出量（検証含む）	C-CH7.8	✓	X	X	X	
		C2.2a	✓	✓	✓	✓			C-CH7.8a	✓	X	X	X	
	C2.2g	✓	✓	✓	✓	スコープ1,2排出量（検証含む）		C7.9	✓	✓	X	X		
	C2.3	✓	X	✓	X		C7.9a	✓	✓	✓	X			
	C2.3a	✓	✓	✓	✓		C7.9b	✓	✓	X	X			
	機会開示	C2.4	✓	X	✓	X	エネルギー	エネルギー	C8.1	✓	✓	X	X	
		C2.4a	✓	✓	✓	✓			C8.2	✓	X	X	X	
C2.4b		✓	✓	✓	✓	C8.2a			✓	✓	X	X		
事業戦略	事業戦略、財務計画&シナリオ分析	C3.1	✓	✓	✓	✓			C8.2b	✓	X	X	X	
		C3.2	✓	✓	✓	✓			C8.2c	✓	✓	X	X	
		C3.2a	✓	✓	✓	✓			C8.2d	✓	✓	X	X	
		C3.2b	✓	✓	✓	X			C-CH8.2d	✓	✓	✓	✓	
		C3.3	✓	✓	X	X			C8.2e	✓	✓	✓	✓	
		C3.4	✓	✓	X	X			C8.2g	✓	✓	X	X	
		C3.5	✓	X	✓	X			C8.2h	✓	✓	✓	✓	
		C3.5a	✓	X	X	X			C8.2i	✓	✓	X	X	
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	✓			C8.2j	X	X	X	X	
		C4.1a	✓	✓	✓	✓			C8.2k	X	X	X	X	
		C4.1b	✓	✓	✓	✓			C8.2l	X	X	X	X	
		C4.1c	✓	✓	✓	✓			C8.2m	X	X	X	X	
		C4.2	✓	X	✓	✓			C-CH8.3	✓	X	X	X	
	排出削減活動と低炭素製品	C4.2a	✓	✓	✓	X			C-CH8.3a	✓	✓	X	X	
		C4.2b	✓	✓	✓	X			C-CH8.3b	✓	✓	X	X	
		C4.2c	✓	✓	✓	✓			追加的気候関連指標（検証含む）	C9.1	X	X	X	X
		C4.3	✓	✓	✓	X				C-CH9.3a	✓	✓	X	X
		C4.3a	✓	✓	✓	✓				C-CH9.6	✓	X	✓	X
排出削減活動と低炭素製品	C4.3b	✓	✓	✓	X	排出削減活動と低炭素製品			C-CH9.6a	✓	✓	✓	X	
	C4.3c	✓	X	X	X				検証	C10.1	✓	✓	✓	✓
	C4.3d	✓	X	✓	✓	スコープ1,2排出量（検証含む）	C10.1a	✓		X	✓	✓		
	C4.5	✓	X	✓	X		C10.1b	✓		X	✓	✓		
	C4.5a	✓	✓	✓	X	スコープ3排出量（検証含む）	C10.1c	✓	X	✓	✓			
排出量算定基準	スコープ1,2排出量（検証含む）	C5.1	✓	X	X		X	追加的気候関連指標（検証含む）	C10.2	✓	✓	✓	X	
		C5.1a	✓	X	X	X	C10.2a		✓	✓	✓	X		
		C5.1b	✓	X	X	X	カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.1	✓	X	X	X	
		C5.1c	✓	✓	✓	X			C11.1a	✓	X	X	X	
		C5.2	✓	✓	X	X			C11.1b	✓	✓	X	X	
C5.3	✓	X	X	X	C11.1c	✓			✓	X	X			
C6.1	✓	X	X	X	C11.1d	✓			✓	✓	X			
C6.2	✓	✓	X	X	C11.2	✓			X	X	X			
C6.3	✓	✓	X	X	C11.2a	✓			X	✓	X			
C6.4	✓	X	X	X	C11.3	✓			✓	✓	X			
C6.4a	✓	✓	✓	X	C11.3a	✓			✓	✓	X			

モジュール	スコアリングカテゴリー	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
		C12.1a	✓	✓	✓	✓
		C12.1b	✓	✓	✓	✓
		C12.1d	✓	X	✓	X
		C12.1e	✓	X	✓	✓
		C12.2	✓	✓	✓	X
	C12.2a	✓	✓	X	✓	
	政策協働	C12.3	✓	✓	✓	X
		C12.3a	✓	✓	✓	X
		C12.3b	✓	✓	✓	X
		C12.3c	✓	✓	✓	X
	コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓
生物多様性	生物多様性	C15.1	X	X	X	X
		C15.2	X	X	X	X
		C15.3	X	X	X	X
		C15.4	X	X	X	X
		C15.5	X	X	X	X
		C15.6	X	X	X	X
最終承認	最終承認	C16.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2022: 金属鉱業セクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022金属鉱業セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

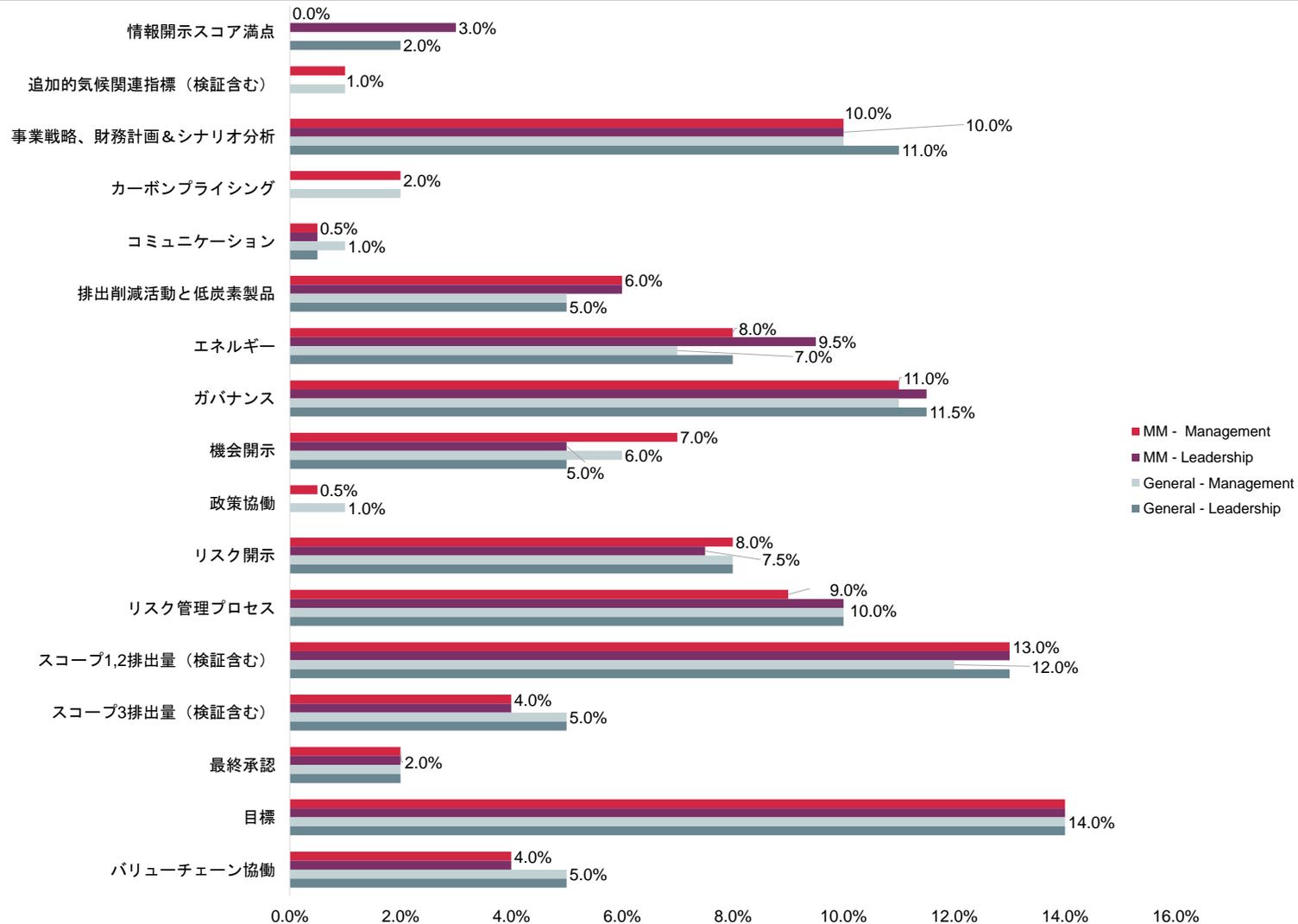
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

金属鉱業:重要なスコアリングカテゴリ

金属・鉱業セクターは、多種多様な製品のライフサイクルの第一段階です。このセクターからの排出量は、化石燃料の燃焼および材料の加工中に鉱山現場で発生します。そのため、スコープ1、2排出量の算定、排出実績、第三者検証は特に重要な項目です。リサイクル率の向上、再生可能や低炭素電力の購入増加、電力網に接続していない遠隔の鉱山では特に重要であろう製造現場での発電を通して、排出削減活動や低カーボン製品の導入は、このセクターからの排出削減に繋がります。燃料転換やエネルギー効率の改善が金属加工設備では必要となっているため、エネルギー消費量とその内訳の開示がこのセクターにとって重要な項目です。また、環境スチュワードシップの進展している企業は、事業戦略にシナリオ分析を活用するでしょう。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 金属鉱業セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、金属・鉱業セクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

金属鉱業スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ		
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X		
	採点対象外	C0.2	X	X	X	X			C7.1a	✓	✓	X	X	X	
		C0.3	X	X	X	X			C7.2	✓	✓	X	X		
		C0.4	X	X	X	X			C7.3	✓	X	X	X		
		C0.5	X	X	X	X			C7.3a	✓	✓	X	X		
		C-MM0.7	X	X	X	X			C7.3b	✓	✓	X	X		
C0.8		X	X	X	X	C7.3c			✓	✓	X	X			
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X			C-MM7.4	✓	X	X	X		
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C7.5	✓	✓	X	X		
		C1.1b	✓	✓	✓	✓			C7.6	✓	X	X	X		
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.6a	✓	✓	X	X		
		C1.1d	✓	✓	✓	X			C7.6b	✓	✓	X	X		
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.6c	✓	✓	X	X		
		C1.2a	✓	X	✓	X			C-MM7.7	✓	X	X	X		
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.9	✓	✓	X	X		
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C7.9a	✓	✓	✓	X		
		C1.3b	✓	✓	✓	✓			C7.9b	✓	✓	X	X		
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X			エネルギー	エネルギー	C8.1	✓	✓	X	X
		C2.1a	✓	✓	X	X	C8.2	✓			X	X	X		
		C2.1b	✓	X	✓	X	C8.2a	✓			✓	✓	✓		
		C2.2	✓	✓	✓	✓	C-MM8.2a	✓			✓	X	X		
		C2.2a	✓	✓	✓	✓	C8.2b	✓			X	X	X		
	C2.2g	✓	✓	✓	✓	C8.2c	✓	✓			✓	X			
	リスク開示	C2.3	✓	X	✓	X	C8.2d	✓			✓	✓	✓		
		C2.3a	✓	✓	✓	✓	C-MM8.2d	✓			✓	X	X		
		C2.3b	✓	✓	✓	✓	C8.2e	✓			✓	✓	✓		
	機会開示	C2.4	✓	X	✓	X	C8.2g	✓			✓	X	X		
C2.4a		✓	✓	✓	✓	C8.2h	✓	✓			✓	✓			
C2.4b	✓	✓	✓	✓	C8.2i	✓	✓	X			X				
事業戦略	事業戦略、財務計画&シナリオ分析	C3.1	✓	✓	✓	✓	C8.2j	X			X	X	X		
		C3.2	✓	✓	✓	✓	C8.2k	X			X	X	X		
		C3.2a	✓	✓	✓	X	C8.2l	X			X	X	X		
		C3.3	✓	✓	X	X	C8.2m	X			X	X	X		
		C3.4	✓	✓	X	X	追加的気候関連指標	追加的気候関連指標 (検証含む)			C9.1	X	X	X	X
		C3.5	✓	X	✓	X					C-MM9.3a	✓	✓	X	X
		C3.5a	✓	X	X	X		C-MM9.3b	✓	✓	X	X			
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	✓		排出削減活動と低炭素製品	C-MM9.6	✓	X	✓	X		
		C4.1a	✓	✓	✓	✓			C-MM9.6a	✓	✓	✓	X		
		C4.1b	✓	✓	✓	✓			C10.1	✓	✓	✓	✓		
		C4.1c	✓	✓	✓	✓	検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1a	✓	X	✓	✓		
		C4.2	✓	X	✓	✓			C10.1b	✓	X	✓	✓		
	C4.2a	✓	✓	✓	X	スコープ3排出量 (検証含む)	追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.1c	✓	X	✓	✓			
	C4.2b	✓	✓	✓	X			C10.2	✓	✓	✓	X			
	C4.2c	✓	✓	✓	✓	カーボンプライシング	カーボンプライシング	C10.2a	✓	✓	✓	X			
	排出削減活動と低炭素製品	C4.3	✓	✓	✓			X	C11.1	✓	X	X	X		
		C4.3a	✓	✓	✓			✓	C11.1a	✓	X	X	X		
C4.3b		✓	✓	✓	X			C11.1b	✓	✓	X	X			
C4.3c		✓	X	X	X			C11.1c	✓	✓	X	X			
C4.3d		✓	X	✓	✓			C11.1d	✓	✓	✓	X			
C4.5	✓	X	✓	X	C11.2			✓	X	X	X				
C4.5a	✓	✓	✓	X	C11.2a			✓	X	✓	X				
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X	X			X	C11.3	✓	✓	✓	X		
		C5.1a	✓	X	X			X	C11.3a	✓	✓	✓	X		
		C5.1b	✓	X	X	X	バリューチェーン協働	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X		
		C5.1c	✓	✓	✓	X			C12.1a	✓	✓	✓	✓		
		C5.2	✓	✓	X	X			C12.1b	✓	✓	✓	✓		
C5.3	✓	X	X	X	C12.1d	✓			X	✓	X				
C6.1	✓	X	X	X	C12.1e	✓			X	✓	✓				
排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.2	✓	✓	X	X			政策協働	政策協働	C12.2	✓	✓	✓	X
		C6.3	✓	✓	X	X					C12.2a	✓	✓	X	✓
		C6.4	✓	X	X	X					C12.3	✓	✓	✓	X
		C6.4a	✓	✓	✓	X					C12.3a	✓	✓	✓	X
		C6.5	✓	✓	✓	✓					C12.3b	✓	✓	✓	X
	スコープ3排出量 (検証含む)	C6.5a	X	X	X	X	コミュニケーション	コミュニケーション	C12.3c	✓	✓	✓	X		
		C6.7	✓	X	X	X			C12.4	✓	X	✓	✓		
		C6.7a	✓	✓	X	X									
		C6.10	✓	✓	✓	X									

モジュール	スコアリングカテゴリー	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
生物多様性	生物多様性	C15.1	X	X	X	X
		C15.2	X	X	X	X
		C15.3	X	X	X	X
		C15.4	X	X	X	X
		C15.5	X	X	X	X
		C15.6	X	X	X	X
最終承認	最終承認	C16.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2022: 鉄鋼セクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022鉄鋼セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

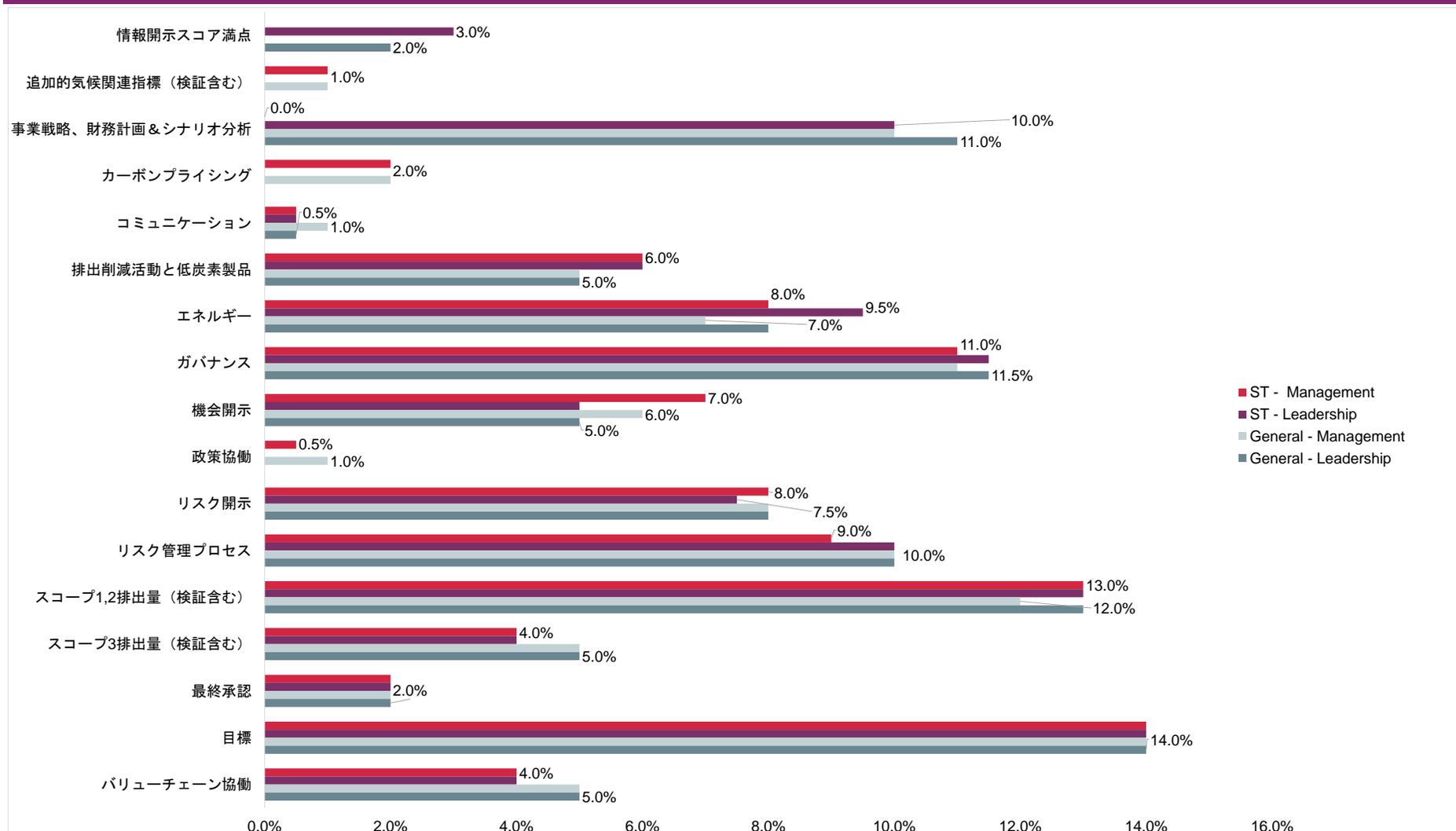
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

鉄鋼:重要なスコアリングカテゴリ

鉄鋼生産はエネルギー多消費の高排出量なプロセスです。鉄鉱石から鉄鋼への変換には、大量の熱とコークス用炭（排出量が多い）が必要です。従って、エネルギー消費量とその内訳の開示、スコープ1,2排出量算定、排出実績、第三者検証の項目が特にこのセクターの企業には重要です。原料への注意、製造プロセス全体でのさまざまな技術の導入、工場での技術の導入、および排出量の少ない燃料への転換といった排出削減活動や低カーボン製品の導入が鉄鋼セクターでの低排出生産に繋がります。このセクターの企業は気候変動と低炭素移行計画を事業戦略で考慮する必要があります。また、環境スチュワードシップの進展している企業は、事業戦略にシナリオ分析を活用するでしょう。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 鉄鋼セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、鉄鋼セクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

鉄鋼スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量データ	スコープ1,2排出量(検証含む)	C6.7	✓	X	X	X
		C0.2	X	X	X	X			C6.7a	✓	✓	X	X
	C0.3	X	X	X	X	C6.10			✓	✓	✓	✓	X
	C0.4	X	X	X	X	C-ST6.14			✓	✓	X	X	X
	C0.5	X	X	X	X	C7.1			✓	✓	X	X	X
ガバナンス	ガバナンス	C-ST0.7	X	X	X	X	C7.1a	✓	✓	X	X	X	
		C0.8	X	X	X	X	C7.2	✓	✓	X	X	X	
		C1.1	✓	✓	X	X	C7.3	✓	X	X	X	X	
		C1.1a	✓	✓	✓	✓	C7.3a	✓	✓	X	X	X	
		C1.1b	✓	✓	✓	✓	C7.3b	✓	✓	X	X	X	
		C1.1c	✓	✓	✓	✓	C7.3c	✓	✓	X	X	X	
		C1.1d	✓	✓	✓	X	C-ST7.4	✓	X	X	X	X	
		C1.2	✓	✓	✓	✓	C7.5	✓	✓	X	X	X	
		C1.2a	✓	X	✓	X	C7.6	✓	X	X	X	X	
		C1.3	✓	✓	✓	X	C7.6a	✓	✓	X	X	X	
リスクと機会	リスク管理プロセス	C1.3a	✓	✓	✓	✓	C7.6b	✓	✓	X	X	X	
		C2.1	✓	✓	X	X	C7.6c	✓	✓	X	X	X	
		C2.1a	✓	✓	X	X	C-ST7.7	✓	X	X	X	X	
		C2.1b	✓	X	✓	X	C7.9	✓	✓	X	X	X	
		C2.2	✓	✓	✓	✓	C7.9a	✓	✓	✓	✓	X	
	リスク開示	C2.2a	✓	✓	✓	✓	C7.9b	✓	✓	X	X	X	
		C2.2a	✓	✓	✓	✓	C8.1	✓	✓	X	X	X	
		C2.3	✓	X	✓	X	C8.2	✓	X	X	X	X	
		C2.3a	✓	✓	✓	✓	C8.2a	✓	✓	X	X	X	
		C2.3b	✓	✓	✓	✓	C-ST8.2a	✓	✓	✓	✓	✓	
機会開示	C2.4	✓	X	✓	X	C8.2b	✓	X	X	X	X		
	C2.4a	✓	✓	✓	✓	C8.2c	✓	✓	X	X	X		
	C2.4b	✓	✓	✓	✓	C8.2d	✓	✓	X	X	X		
	C3.1	✓	✓	✓	✓	C-ST8.2d	✓	✓	✓	✓	✓		
	C3.2	✓	✓	✓	✓	C8.2e	✓	✓	✓	✓	✓		
事業戦略	事業戦略、財務計画&シナリオ分析	C3.2a	✓	✓	✓	✓	C8.2g	✓	✓	X	X	X	
		C3.2b	✓	✓	✓	X	C8.2h	✓	✓	✓	✓	✓	
		C3.3	✓	✓	X	X	C8.2i	✓	✓	X	X	X	
		C3.4	✓	✓	X	X	C8.2j	X	X	X	X	X	
		C3.5	✓	X	✓	X	C8.2k	X	X	X	X	X	
		C3.5a	✓	X	X	X	C8.2l	X	X	X	X	X	
		C4.1	✓	✓	✓	✓	C8.2m	X	X	X	X	X	
		C4.1a	✓	✓	✓	✓	C-ST8.3	✓	✓	X	X	X	
目標と実績	目標	C4.1b	✓	✓	✓	✓	C9.1	X	X	X	X	X	
		C4.1c	✓	✓	✓	✓	C-ST9.3a	✓	✓	X	X	X	
		C4.2	✓	X	✓	✓	C-ST9.3b	✓	✓	X	X	X	
		C4.2a	✓	✓	✓	X	C-ST9.6	✓	X	✓	✓	X	
		C4.2b	✓	✓	✓	X	C-ST9.6a	✓	✓	✓	✓	X	
	排出削減活動と低炭素製品	C4.2c	✓	✓	✓	✓	C10.1	✓	✓	✓	✓	✓	
		C4.3	✓	✓	✓	X	C10.1a	✓	X	✓	✓	✓	
		C4.3a	✓	✓	✓	✓	C10.1b	✓	X	✓	✓	✓	
		C4.3b	✓	✓	✓	X	C10.1c	✓	X	✓	✓	✓	
		C4.3c	✓	X	X	X	C10.2	✓	✓	✓	✓	X	
排出量算定基準	スコープ1,2排出量(検証含む)	C4.3d	✓	X	✓	✓	C10.2a	✓	✓	✓	✓	X	
		C4.5	✓	X	✓	X	C11.1	✓	X	X	X	X	
		C4.5a	✓	✓	✓	X	C11.1a	✓	X	X	X	X	
		C-ST4.9	✓	✓	X	X	C11.1b	✓	✓	X	X	X	
		C5.1	✓	X	X	X	C11.1c	✓	✓	X	X	X	
		C5.1a	✓	X	X	X	C11.1d	✓	✓	✓	✓	X	
		C5.1b	✓	X	X	X	C11.2	✓	X	X	X	X	
		C5.1c	✓	✓	✓	X	C11.2a	✓	X	✓	✓	X	
		C5.2	✓	✓	X	X	C11.3	✓	✓	✓	✓	X	
		C5.3	✓	X	X	X	C11.3a	✓	✓	✓	✓	X	
排出量データ	スコープ3排出量(検証含む)	C6.1	✓	X	X	X	カーボンライジング	カーボンライジング	C6.2	✓	✓	X	X
		C6.2	✓	✓	X	X			C6.7	✓	✓	✓	✓
		C6.3	✓	✓	X	X			C6.7a	✓	✓	✓	✓
		C6.4	✓	X	X	X			C6.10	✓	✓	✓	✓
	C6.4a	✓	✓	✓	X	C-ST6.14			✓	✓	X	X	
	C6.5	✓	✓	✓	✓	C7.1			✓	✓	X	X	
	C6.5a	X	X	X	X	C7.1a			✓	✓	X	X	

モジュール	スコアリング カテゴリ	質問番号	情報開 示	認識	マネジ メント	リー ダー シップ
エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
		C12.1a	✓	✓	✓	✓
		C12.1b	✓	✓	✓	✓
		C12.1d	✓	X	✓	X
		C12.1e	✓	X	✓	✓
		C12.2	✓	✓	✓	X
		C12.2a	✓	✓	X	✓
	政策協働	C12.3	✓	✓	✓	X
		C12.3a	✓	✓	✓	X
		C12.3b	✓	✓	✓	X
		C12.3c	✓	✓	✓	X
	コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓
	生物多様性	生物多様性	C15.1	X	X	X
C15.2			X	X	X	X
C15.3			X	X	X	X
C15.4			X	X	X	X
C15.5			X	X	X	X
C15.6			X	X	X	X
最終承認	最終承認	C16.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2022: 建設セクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022建設セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

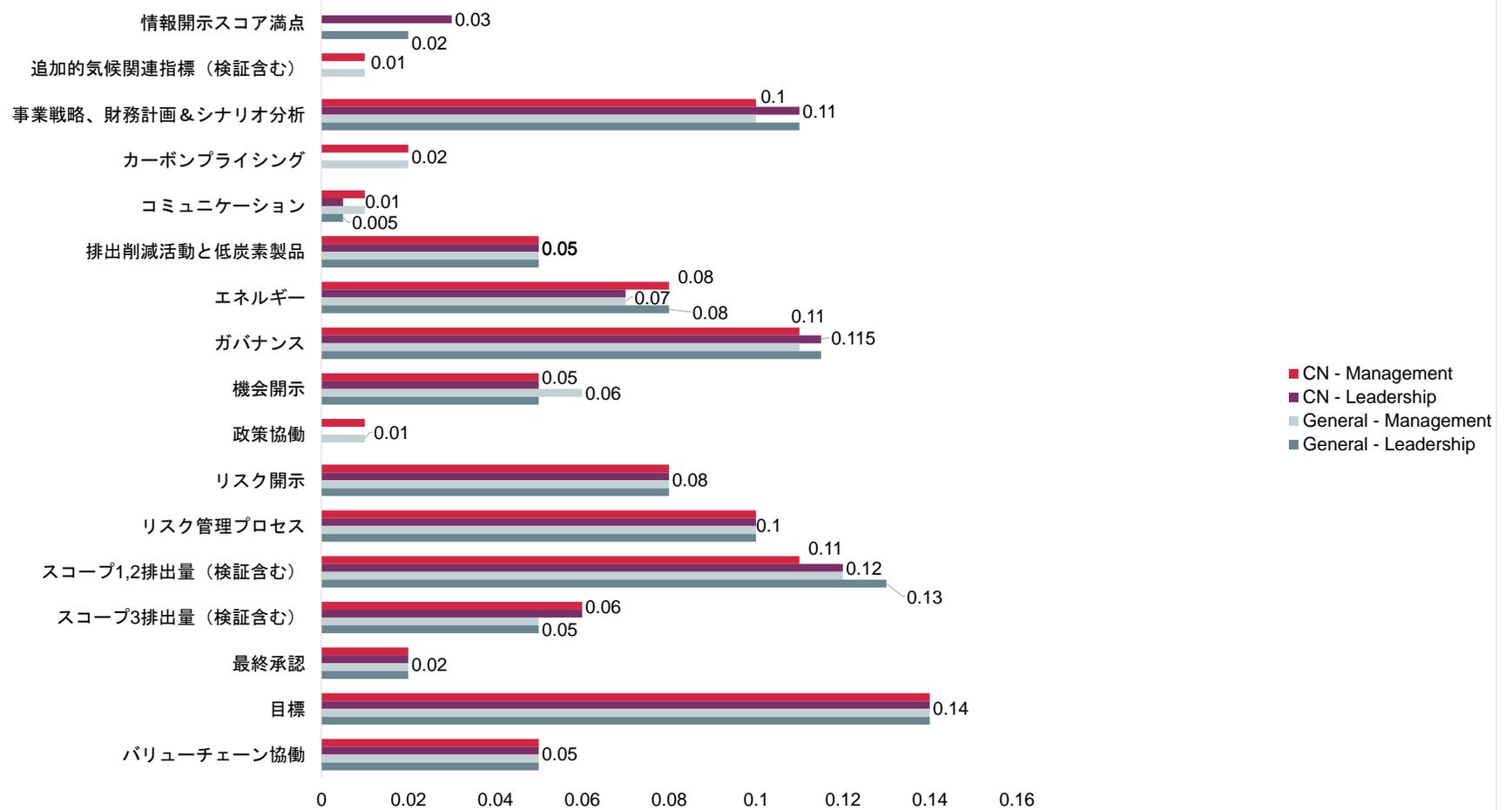
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

建設:重要なスコアリングカテゴリ

建設セクターの活動は、設計、材料製造、建設、ライフサイクルメンテナンスにまたがるバリューチェーンのさまざまなポイントでなされます。現在、建物は世界のGHG排出量の39%を占めています。これらの排出量のかなりの部分は、建設プロセス自体だけでなく、材料の製造（統合された排出量）や、建物の使用段階での運営上の排出量にも起因します。2060年までに現在の世界的な建物の床面積が2倍以上に設定されると、プロジェクトの完了前に、新しい建物、増築、改修、インフラ用の建設資材の需要が増大し、大幅かつ短期間での炭素排出が発生します。透明性のあるセクター固有のメトリックを報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」カテゴリと「スコープ3」カテゴリの重み付けの増加によって強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 建設セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、建設セクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

建設スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ			
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.4a	✓	✓	✓	X			
	探点対象外	C0.2	X	X	X	X		スコープ3排出量 (検証含む)	C6.5	✓	✓	✓	✓	✓		
		C0.3	X	X	X	X		排出削減活動と低炭素製品	C6.5a	X	X	X	X	X		
		C0.4	X	X	X	X			C-CN6.6	✓	✓	✓	✓	X		
		C0.5	X	X	X	X			C-CN6.6a	✓	✓	✓	✓	X		
		C-CN0.7	X	X	X	X		C-CN6.6b	✓	X	✓	✓	X			
		C0.8	X	X	X	X		C-CN6.6c	✓	✓	✓	✓	✓	X		
		ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓		X	X	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.7	✓	X	X	X	X
C1.1a	✓			✓	✓	✓	C6.7a	✓	✓		X	X	X			
C1.1b	✓			✓	✓	✓	C6.10	✓	✓		✓	✓	X			
C1.1c	✓			✓	✓	✓	✓	C7.1	✓	✓	X	X	X			
C1.1d	✓			✓	✓	X	X	C7.1a	✓	✓	X	X	X			
C1.2	✓			✓	✓	✓	✓	C7.2	✓	✓	X	X	X			
C1.2a	✓			X	✓	X	X	C7.3	✓	X	X	X	X			
C1.3	✓			✓	✓	X	X	C7.3a	✓	✓	X	X	X			
C1.3a	✓			✓	✓	✓	✓	C7.3b	✓	✓	X	X	X			
リスクと機会	リスク管理プロセス			C2.1	✓	✓	X	X	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.3c	✓	✓	X	X	X
		C2.1a	✓	✓	X	X	C7.5	✓			✓	X	X	X		
		C2.1b	✓	X	✓	X	X	C7.6			✓	X	X	X		
		C2.2	✓	✓	✓	✓	✓	C7.6a			✓	✓	X	X		
		C2.2a	✓	✓	✓	✓	✓	C7.6b			✓	✓	X	X		
	C2.2g	✓	✓	✓	✓	✓	C7.6c	✓			✓	X	X			
	リスク開示	C2.3	✓	X	✓	X	X	C7.9			✓	✓	X	X	X	
		C2.3a	✓	✓	✓	✓	✓	C7.9a			✓	✓	✓	X	X	
		C2.3b	✓	✓	✓	✓	✓	C7.9b			✓	✓	X	X	X	
		C2.4	✓	X	✓	X	X	C8.1			✓	✓	X	X	X	
C2.4a		✓	✓	✓	✓	✓	C8.2	✓			X	X	X	X		
機会開示	C2.4b	✓	✓	✓	✓	✓	C8.2a	✓			✓	✓	✓	✓		
	C3.1	✓	✓	✓	✓	✓	C8.2b	✓			X	X	X	X		
	C3.2	✓	✓	✓	✓	✓	C8.2c	✓			✓	✓	✓	X		
	C3.2a	✓	✓	✓	✓	✓	C8.2d	✓			✓	✓	✓	✓		
	C3.2b	✓	✓	✓	✓	X	C8.2e	✓	✓	✓	✓	✓				
ビジネス戦略	ビジネス戦略、財務計画 & シナリオ分析	C3.3	✓	✓	X	X	X	C8.2g	✓	✓	X	X	X			
		C3.4	✓	✓	X	X	X	C8.2h	✓	✓	✓	✓	✓			
		C3.5	✓	X	✓	X	X	C8.2i	✓	✓	X	X	X			
		C3.5a	✓	X	X	X	X	C8.2j	X	X	X	X	X			
		目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	✓	✓	C8.2k	X	X	X	X	X	
				C4.1a	✓	✓	✓	✓	✓	C8.2l	X	X	X	X	X	
				C4.1b	✓	✓	✓	✓	✓	C8.2m	X	X	X	X	X	
				C4.1c	✓	✓	✓	✓	✓	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X	
				C4.2	✓	X	✓	✓	✓		C-CN9.6	✓	X	✓	✓	X
			C4.2a	✓	✓	✓	X	X	C-CN9.6a		✓	✓	✓	✓	X	
C4.2b	✓		✓	✓	X	X	C-CN9.10	✓	✓		X	X	X			
C4.2c	✓		✓	✓	✓	✓	C-CN9.10a	✓	✓		✓	✓	X			
排出削減活動と低炭素製品	C4.3		✓	✓	✓	X	X	C-CN9.11	✓	X	X	X	X			
	C4.3a		✓	✓	✓	✓	✓	検証	C10.1	✓	✓	✓	✓	✓		
	C4.3b	✓	✓	✓	✓	✓	スコープ1,2排出量 (検証含む)		C10.1a	✓	X	✓	✓	✓		
	C4.3c	✓	X	X	X	X			C10.1b	✓	X	✓	✓	✓		
	C4.3d	✓	X	✓	✓	✓	スコープ3排出量 (検証含む)		C10.1c	✓	X	✓	✓	✓		
C4.5	✓	X	✓	X	X	C10.2			✓	✓	✓	✓	X			
C4.5a	✓	✓	✓	✓	X	C10.2a		✓	✓	✓	✓	X				
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X	X	X	カーボンライジング	カーボンライジング	C11.1	✓	X	X	X			
		C5.2	✓	X	X	X			X	C11.1a	✓	X	X	X		
		C5.2a	X	X	X	X			X	C11.1b	✓	✓	X	X		
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X	X	X			X	C11.1c	✓	✓	X	X		
		C5.1a	✓	X	X	X			X	C11.1d	✓	✓	✓	X		
		C5.1b	✓	X	X	X			X	C11.2	✓	X	X	X		
		C5.1c	✓	✓	✓	✓			X	C11.2a	✓	X	✓	X		
		C5.2	✓	✓	X	X			X	C11.3	✓	✓	✓	X		
		C5.3	✓	X	X	X			X	C11.3a	✓	✓	✓	X		
排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X			エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	✓	
		C6.2	✓	✓	X	X					X	C12.1a	✓	✓	✓	✓
		C6.3	✓	✓	X	X					X	C12.1b	✓	✓	✓	✓
		C6.4	✓	X	X	X					X	C12.1d	✓	X	✓	X

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1e	✓	X	✓	✓
		C12.2	✓	✓	✓	X
		C12.2a	✓	✓	X	✓
	政策協働	C12.3	✓	✓	✓	X
		C12.3a	✓	✓	✓	X
		C12.3b	✓	✓	✓	X
		C12.3c	✓	✓	✓	X
コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓	
生物多様性	生物多様性	C15.1	X	X	X	X
		C15.2	X	X	X	X
		C15.3	X	X	X	X
		C15.4	X	X	X	X
		C15.5	X	X	X	X
		C15.6	X	X	X	X
最終承認	最終承認	C16.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2022: 不動産セクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022不動産セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

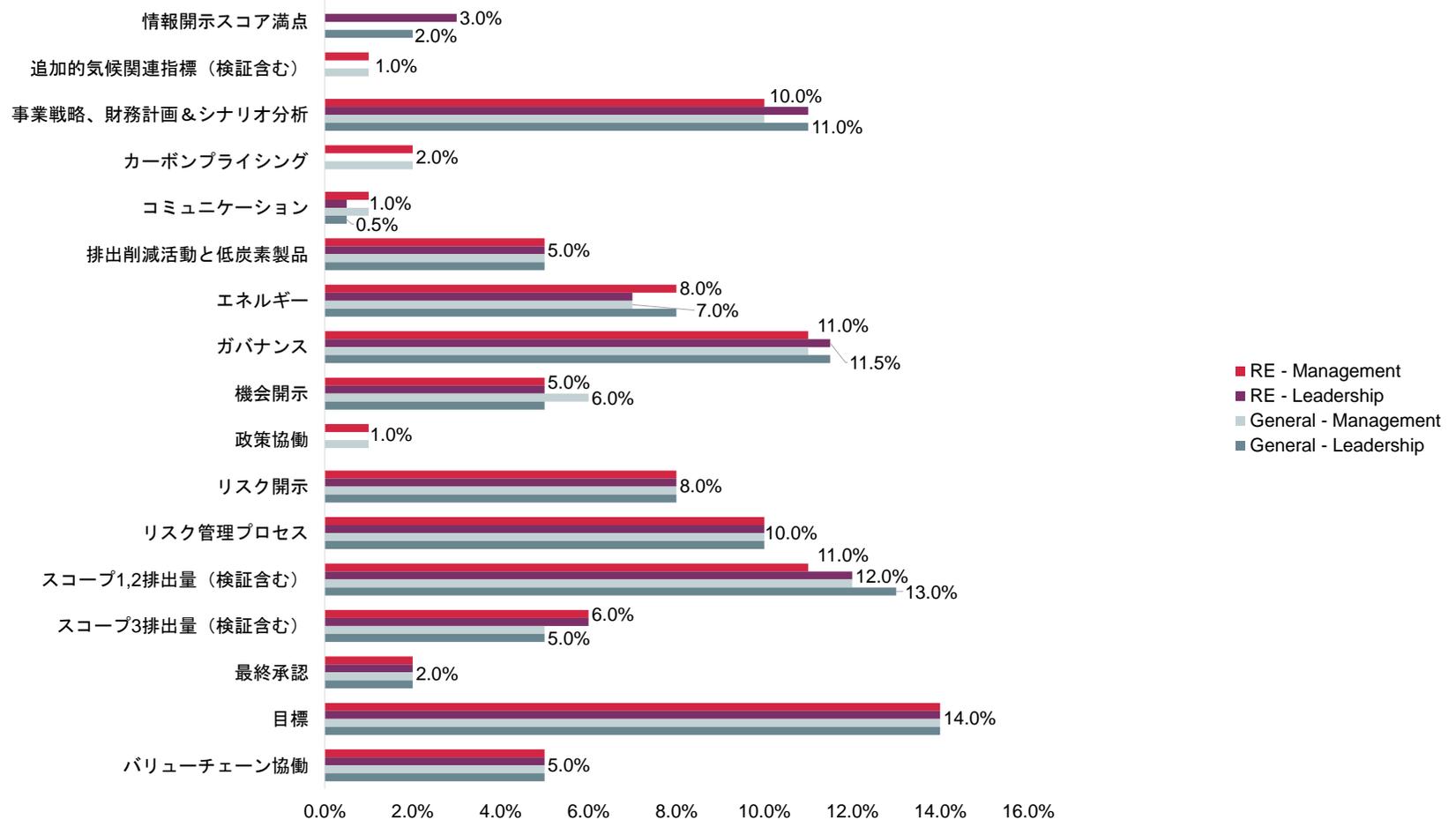
スコアリングカテゴリとウェイト: 概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なり、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

不動産: 重要なスコアリングカテゴリ

不動産セクターの活動は、財務、設計、建設、ライフサイクルメンテナンスにまたがるバリューチェーンのさまざまなポイントでなされます。現在、建物は世界のGHG排出量の39%を占めています。これらの排出量の多くの部分は、資産の使用(運営上の排出量(スコープ1および2))だけでなく、それらの建設(統合された排出量(スコープ3))にも起因します。現在の世界的な建物の床面積が2060年までに2倍以上に設定されると、プロジェクトの完了前に新しい建物、増築、改修、インフラにおける建設資材の需要が増大し、大幅かつ短期間で炭素排出が発生します。透明性のあるセクター固有のメトリックを報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」カテゴリと「スコープ3」カテゴリの重み付けの増加によって強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 不動産セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、不動産セクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

不動産スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ		
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量データ	スコープ1,2排出量（検証含む）	C6.4a	✓	✓	✓	X		
	探点対象外	C0.2	X	X	X	X		スコープ3排出量（検証含む）	C6.5	✓	✓	✓	✓	✓	
		C0.3	X	X	X	X		C6.5a	X	X	X	X	X	X	
		C0.4	X	X	X	X			C-RE6.6	✓	✓	✓	✓	X	
		C0.5	X	X	X	X			C-RE6.6a	✓	✓	✓	✓	X	
		C-RE0.7	X	X	X	X		C-RE6.6b	✓	X	✓	✓	X		
C0.8		X	X	X	X	C-RE6.6c		✓	✓	✓	✓	✓	X		
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X		排出量内訳	スコープ1,2排出量（検証含む）	C6.7	✓	X	X	X	
		C1.1a	✓	✓	✓	✓				C6.7a	✓	✓	X	X	
		C1.1b	✓	✓	✓	✓				C6.10	✓	✓	✓	✓	X
		C1.1c	✓	✓	✓	✓				C7.1	✓	✓	X	X	
		C1.1d	✓	✓	✓	X				C7.1a	✓	✓	X	X	
		C1.2	✓	✓	✓	✓	C7.2			✓	✓	X	X		
		C1.2a	✓	X	✓	X	C7.3			✓	X	X	X		
		C1.3	✓	✓	✓	X	C7.3a			✓	✓	X	X		
C1.3a	✓	✓	✓	✓	C7.3b	✓	✓			X	X				
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X	C7.3c			✓	✓	X	X		
		C2.1a	✓	✓	X	X	C7.5	✓	✓	X	X				
		C2.1b	✓	X	✓	X	C7.6	✓	X	X	X				
		C2.2	✓	✓	✓	✓	C7.6a	✓	✓	X	X				
		C2.2a	✓	✓	✓	✓	C7.6b	✓	✓	X	X				
	C2.2g	✓	✓	✓	✓	C7.6c	✓	✓	X	X					
	リスク開示	C2.3	✓	X	✓	X	C7.9	✓	✓	X	X				
		C2.3a	✓	✓	✓	✓	C7.9a	✓	✓	✓	X				
		C2.3b	✓	✓	✓	✓	C7.9b	✓	✓	X	X				
	機会開示	C2.4	✓	X	✓	X	C8.1	✓	✓	X	X				
C2.4a		✓	✓	✓	✓	C8.2	✓	X	X	X					
C2.4b		✓	✓	✓	✓	C8.2a	✓	✓	✓	✓					
ビジネス戦略	ビジネス戦略、財務計画 & シナリオ分析	C3.1	✓	✓	✓	✓	C8.2b	✓	X	X	X				
		C3.2	✓	✓	✓	✓	C8.2c	✓	✓	✓	X				
		C3.2a	✓	✓	✓	✓	C8.2d	✓	✓	✓	✓				
		C3.2b	✓	✓	✓	X	C8.2e	✓	✓	✓	✓				
		C3.3	✓	✓	X	X	C8.2g	✓	✓	X	X				
		C3.4	✓	✓	X	X	C8.2h	✓	✓	✓	✓				
		C3.5	✓	X	✓	X	C8.2i	✓	✓	X	X				
		C3.5a	✓	X	X	X	C8.2j	X	X	X	X				
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	✓	C8.2k	X	X	X	X				
		C4.1a	✓	✓	✓	✓	C8.2l	X	X	X	X				
		C4.1b	✓	✓	✓	✓	C8.2m	X	X	X	X				
		C4.1c	✓	✓	✓	✓	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X			
		C4.2	✓	X	✓	✓		C-RE9.6	✓	X	✓	X			
		C4.2a	✓	✓	✓	X		C-RE9.6a	✓	✓	✓	X			
	C4.2b	✓	✓	✓	X	C-RE9.9		✓	✓	X	X				
	C4.2c	✓	✓	✓	✓	C-RE9.9a		✓	✓	✓	X				
	C4.3	✓	✓	✓	X	C-RE9.10		✓	✓	X	X				
	C4.3a	✓	✓	✓	✓	C-RE9.10a		✓	✓	✓	X				
	排出削減活動と低炭素製品	C4.3b	✓	✓	✓	X	C-RE9.11	✓	X	X	X				
		C4.3c	✓	X	X	X	検証	スコープ1,2排出量（検証含む）	C10.1	✓	✓	✓	✓		
C4.3d		✓	X	✓	✓	C10.1a			✓	X	✓	✓			
C4.5		✓	X	✓	X	C10.1b			✓	X	✓	✓			
C4.5a		✓	✓	✓	X	スコープ3排出量（検証含む）		C10.1c	✓	X	✓	✓			
排出量算定基準		スコープ1,2排出量（検証含む）	C5.1	✓	X			X	X	追加的気候関連指標（検証含む）	C10.2	✓	✓	✓	X
	C5.2		✓	X	X			X	C10.2a		✓	✓	✓	X	
	C5.2a		X	X	X	X	C11.1	✓	X		X	X			
	C5.1		✓	X	X	X	C11.1a	✓	X		X	X			
排出量算定基準	スコープ1,2排出量（検証含む）	C5.1a	✓	X	X	X	C11.1b	✓	✓	X	X				
		C5.1b	✓	X	X	X	C11.1c	✓	✓	X	X				
		C5.1c	✓	✓	✓	X	C11.1d	✓	✓	✓	X				
		C5.2	✓	✓	X	X	C11.2	✓	X	X	X				
		C5.3	✓	X	X	X	C11.2a	✓	X	✓	X				
排出量データ	排出量データ	C6.1	✓	X	X	X	C11.3	✓	✓	✓	X				
		C6.2	✓	✓	X	X	C11.3a	✓	✓	✓	X				
		C6.3	✓	✓	X	X	カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.1	✓	✓	✓	✓		
		C6.4	✓	X	X	X			C11.1b	✓	✓	✓	✓		
カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.1	✓	✓	✓	✓			C11.1c	✓	✓	✓	✓		
		C11.1a	✓	✓	✓	✓			C11.1d	✓	✓	✓	✓		
		C11.1b	✓	✓	✓	✓			C11.2	✓	X	X	X		
		C11.1c	✓	✓	✓	✓			C11.2a	✓	✓	✓	✓		
		C11.1d	✓	✓	✓	✓	C11.3	✓	✓	✓	✓				
		C11.2	✓	X	X	X	C11.3a	✓	✓	✓	✓				

モジュール	スコアリング カテゴリ	質問番号	情報開 示	認識	マネジ メント	リー ダー シップ	
エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X	
		C12.1a	✓	✓	✓	✓	
		C12.1b	✓	✓	✓	✓	
		C12.1d	✓	X	✓	X	
		C12.1e	✓	X	✓	✓	
		C12.2	✓	✓	✓	X	
	政策協働	C12.2a	✓	✓	X	✓	
		C12.3	✓	✓	✓	X	
		C12.3a	✓	✓	✓	X	
		C12.3b	✓	✓	✓	X	
	コミュニケーション	C12.3c	✓	✓	✓	X	
		C12.4	✓	X	✓	✓	
	生物多様性	生物多様性	C15.1	X	X	X	X
			C15.2	X	X	X	X
C15.3			X	X	X	X	
C15.4			X	X	X	X	
C15.5			X	X	X	X	
C15.6			X	X	X	X	
最終承認	最終承認	C16.1	✓	X	✓	✓	

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2022: 輸送機器エンジン部品製造セクター質問スコアリングカテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022輸送機器エンジン部品製造セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別 質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

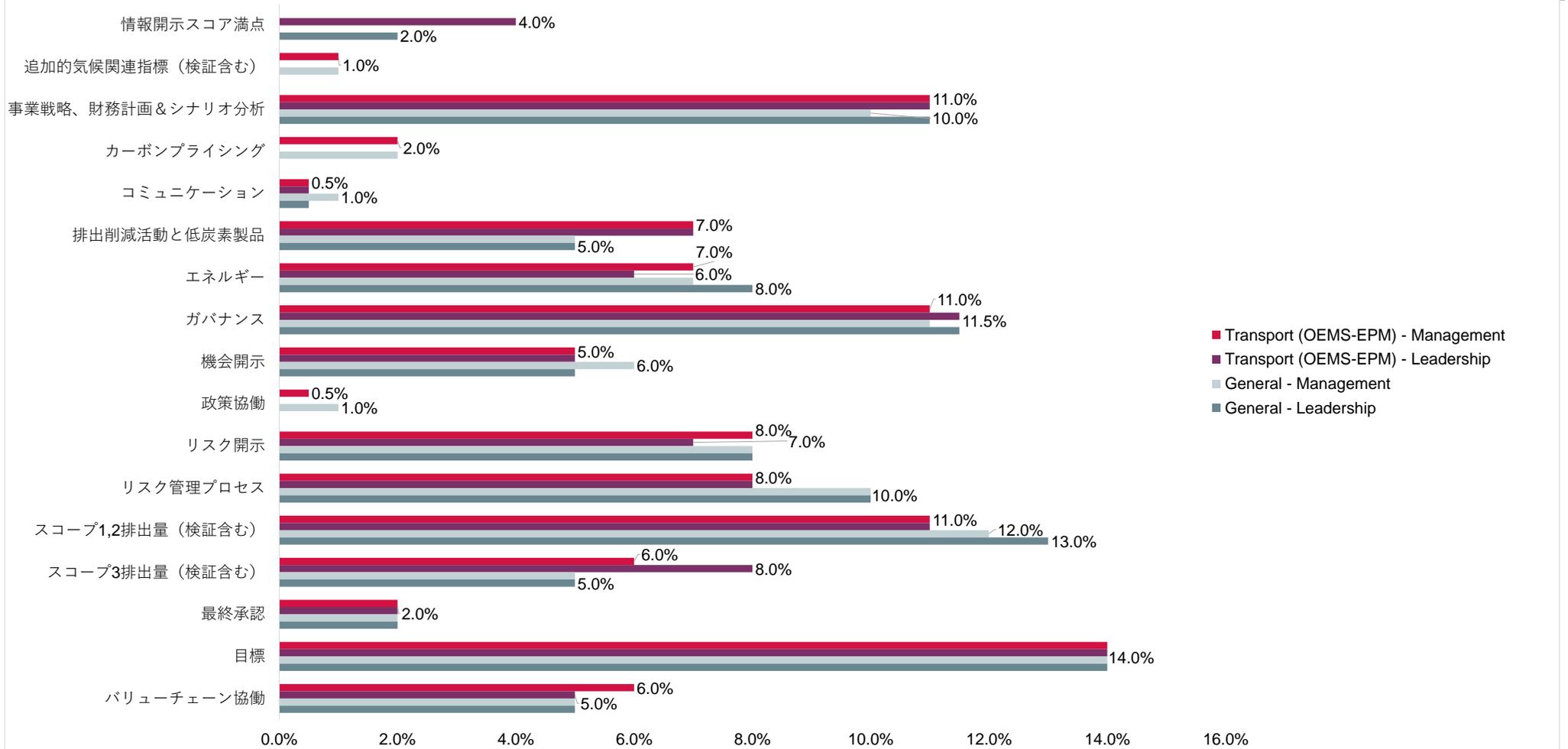
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

輸送機器エンジン部品製造:重要なスコアリングカテゴリ

輸送セクターは、排出量が多くエネルギー多消費セクターです。輸送機器エンジン部品製造セクターはCDPの輸送クラスターの一部です。気候変動プログラムでは、このクラスターには、CDPが対象としている次の5種類の輸送機器のエンジン部品を製造する企業が含まれています。これは、航空機、普通乗用車（LDV）、大型車（HDV）、船舶、鉄道です。輸送セクターは、世界のエネルギー関連排出量のほぼ4分の1を占め、過去35年間でエネルギー使用量を2倍にしており、スコープ1、2および3（カテゴリ11：販売製品の使用）排出量の活動量に基づいた算定が特に重要となります。スコープ3の数値に使用されるデータの仮定と計算方法も、このセクターの企業にとって中心的なものとなるはずで、輸送機器エンジン部品製造セクターの企業は、排出削減活動と低炭素輸送技術の生産およびそれへの投資を通して実行される事業戦略に気候変動と低炭素移行計画を統合する必要があります。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 輸送機器エンジン部品製造セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、輸送機器エンジン部品製造セクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

輸送機器エンジン部品製造スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ				
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量内訳	スコープ1,2排出量(検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X				
	採点対象外	C0.2	X	X	X	X			C7.1a	✓	✓	X	X				
		C0.3	X	X	X	X			C7.2	✓	✓	X	X				
		C0.4	X	X	X	X			C7.3	✓	X	X	X				
		C0.5	X	X	X	X			C7.3a	✓	✓	X	X				
		C0.8	X	X	X	X			C7.3b	✓	✓	X	X				
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X			C7.3c	✓	✓	X	X				
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C7.5	✓	✓	X	X				
		C1.1b	✓	✓	✓	✓			C7.6	✓	X	X	X				
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.6a	✓	✓	X	X				
		C1.1d	✓	✓	✓	X			C7.6b	✓	✓	X	X				
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.6c	✓	✓	X	X				
		C1.2a	✓	X	✓	X			C7.9	✓	✓	X	X				
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.9a	✓	✓	✓	X				
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C7.9b	✓	✓	X	X				
		リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓			X	X	エネルギー	エネルギー	C8.1	✓	✓	X	X
				C2.1a	✓	✓			X	X			C8.2	✓	X	X	X
				C2.1b	✓	X			✓	X			C8.2a	✓	✓	✓	✓
C2.2	✓			✓	✓	✓	C8.2b	✓	X	X			X				
C2.2a	✓			✓	✓	✓	C8.2c	✓	✓	✓			X				
C2.2g	✓			✓	✓	✓	C8.2d	✓	✓	✓			✓				
リスク開示	C2.3		✓	X	✓	X	C8.2e	✓	✓	✓			✓				
	C2.3a		✓	✓	✓	✓	C8.2g	✓	✓	X			X				
	C2.3b		✓	✓	✓	✓	C8.2h	✓	✓	✓			✓				
機会開示	C2.4		✓	X	✓	X	C8.2i	✓	✓	X			X				
	C2.4a		✓	✓	✓	✓	C8.2j	X	X	X			X				
	C2.4b		✓	✓	✓	✓	C8.2k	X	X	X			X				
事業戦略	事業戦略、財務計画&シナリオ分析	C3.1	✓	✓	✓	✓	C8.2l	X	X	X			X				
		C3.2	✓	✓	✓	✓	C8.2m	X	X	X			X				
		C3.2a	✓	✓	✓	✓	追加的気候関連指標(検証含む)	C9.1	X	X			X	X			
		C3.2b	✓	✓	✓	X	排出削減活動と低炭素製品	C-T09.6	✓	X			✓	X			
		C3.3	✓	✓	X	X	C-T09.6a	✓	✓	✓			✓				
		C3.4	✓	✓	X	X	検証	スコープ1,2排出量(検証含む)	C10.1	✓			✓	✓	✓		
		C3.5	✓	X	✓	X			C10.1a	✓	X	✓	✓				
C3.5a	✓	X	X	X	C10.1b	✓			X	✓	✓						
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	✓			C10.1c	✓	X	✓	✓				
		C4.1a	✓	✓	✓	✓			追加的気候関連指標(検証含む)	C10.2	✓	✓	✓	X			
		C4.1b	✓	✓	✓	✓				C10.2a	✓	✓	✓	✓			
		C4.1c	✓	✓	✓	✓	カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.1	✓	X	X	X				
		C4.2	✓	X	✓	✓			C11.1a	✓	X	X	X				
	C4.2a	✓	✓	✓	X	C11.1b			✓	✓	X	X					
	C4.2b	✓	✓	✓	X	C11.1c			✓	✓	X	X					
	C4.2c	✓	✓	✓	✓	C11.1d			✓	✓	✓	✓					
	排出削減活動と低炭素製品	C4.3	✓	✓	✓	X			C11.2	✓	X	X	X				
		C4.3a	✓	✓	✓	✓			C11.2a	✓	X	✓	X				
C4.3b		✓	✓	✓	X	C11.3			✓	✓	✓	X					
C4.3c		✓	X	X	X	C11.3a			✓	✓	✓	X					
C4.3d		✓	X	✓	✓	エンゲージメント			バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X			
C4.5	✓	X	✓	X	C12.1a		✓	✓		✓	✓						
C4.5a	✓	✓	✓	X	C12.1b		✓	✓		✓	✓						
排出量算定基準	スコープ1,2排出量(検証含む)	C5.1	✓	X	X		X	C12.1d		✓	X	✓	X				
		C5.1a	✓	X	X		X	C12.1e		✓	X	✓	✓				
		C5.1b	✓	X	X		X	C12.2		✓	✓	✓	X				
		C5.1c	✓	✓	✓		X	C12.2a		✓	✓	X	✓				
		C5.2	✓	✓	X		X	政策協働		C12.3	✓	✓	✓	X			
		C5.3	✓	X	X		X			C12.3a	✓	✓	✓	X			
排出量データ	スコープ3排出量(検証含む)	C6.1	✓	X	X		X			C12.3b	✓	✓	✓	X			
		C6.2	✓	✓	X	X	C12.3c	✓	✓	✓	X						
		C6.3	✓	✓	X	X	コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓					
		C6.4	✓	X	X	X		生物多様性	生物多様性	C15.1	X	X	X	X			
		C6.4a	✓	✓	✓	✓	C15.2			X	X	X	X				
	C6.5	✓	✓	✓	✓	C15.3	X			X	X	X					
	C6.5a	X	X	X	X	C15.4	X			X	X	X					
	C6.7	✓	X	X	X	C15.5	X			X	X	X					
	C6.7a	✓	✓	X	X	C15.6	X			X	X	X					
	C6.10	✓	✓	✓	✓	最終承認	最終承認	C16.1	✓	X	✓	✓					

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
✗	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2022: 輸送機器製造セクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022輸送機器製造セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

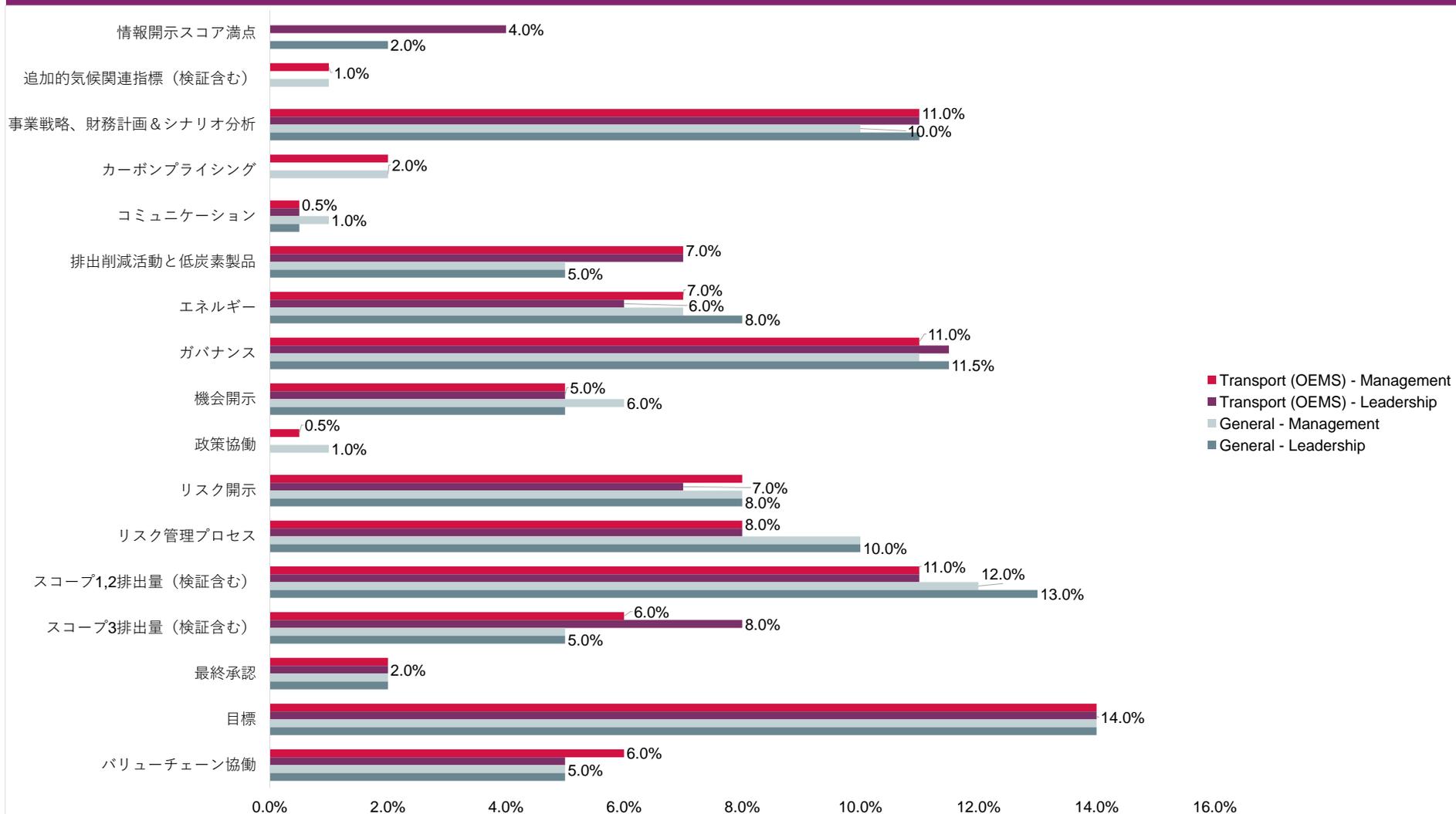
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

輸送機器製造:重要なスコアリングカテゴリ

輸送セクターは、排出量が多くエネルギー多消費セクターです。輸送機器製造セクターはCDPの輸送クラスターの一部です。気候変動プログラムでは、このクラスターには、CDPが対象としている次の5種類の輸送機器製造企業が含まれています。これは、航空機、普通乗用車（LDV）、大型車（HDV）、船舶、鉄道です。輸送セクターは、世界のエネルギー関連排出量のほぼ4分の1を占め、過去35年間でエネルギー使用量を2倍にしており、スコープ1、2および3（カテゴリ11：販売製品の使用）排出量の活動量に基づいた算定が特に重要となります。スコープ3の数値に使用されるデータの仮定と計算方法も、このセクターの企業にとって中心的なものとなるはずですが、輸送機器製造セクターの企業は、排出削減活動と低炭素輸送技術の生産およびそれへの投資を通して実行される事業戦略に気候変動と低炭素移行計画を統合する必要があります。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 輸送機器製造セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、輸送機器製造セクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

輸送機器製造スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ		
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量データ	スコープ1,2排出量(検証含む)	C6.7	✓	X	X	X		
	探点対象外	C0.2	X	X	X	X			C6.7a	✓	✓	X	X		
		C0.3	X	X	X	X			C6.10	✓	✓	✓	X		
		C0.4	X	X	X	X			追加的気候関連指標(検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X	
		C0.5	X	X	X	X				C7.1a	✓	✓	X	X	
		C-T00.7	X	X	X	X				C7.2	✓	✓	X	X	
C0.8	X	X	X	X	C7.3	✓	X	X		X					
C1.1	✓	✓	X	X	C7.3a	✓	✓	X		X					
ガバナンス	ガバナンス	C1.1a	✓	✓	✓	✓	C7.3b	✓	✓	X	X				
		C1.1b	✓	✓	✓	✓	C7.3c	✓	✓	X	X				
		C1.1c	✓	✓	✓	✓	C-T07.4	✓	X	X	X				
		C1.1d	✓	✓	✓	X	C7.5	✓	✓	X	X				
		C1.2	✓	✓	✓	✓	C7.6	✓	X	X	X				
		C1.2a	✓	X	✓	X	C7.6a	✓	✓	X	X				
		C1.3	✓	✓	✓	X	C7.6b	✓	✓	X	X				
		C1.3a	✓	✓	✓	✓	C7.6c	✓	✓	X	X				
		C2.1	✓	✓	X	X	C-T07.7	✓	X	X	X				
		C2.1a	✓	✓	X	X	C-T07.8	✓	✓	X	X				
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1b	✓	X	✓	X	C7.9	✓	✓	X	X				
		C2.2	✓	✓	✓	✓	C7.9a	✓	✓	✓	X				
		C2.2a	✓	✓	✓	✓	C7.9b	✓	✓	X	X				
		C2.2g	✓	✓	✓	✓	C8.1	✓	✓	X	X				
		C2.3	✓	X	✓	X	C8.2	✓	X	X	X				
	リスク開示	C2.3a	✓	✓	✓	✓	C8.1	✓	✓	X	X				
		C2.3b	✓	✓	✓	✓	C8.2	✓	X	X	X				
		C2.4	✓	X	✓	X	C8.2a	✓	✓	✓	✓				
	機会開示	C2.4a	✓	✓	✓	✓	C8.2b	✓	X	X	X				
		C2.4b	✓	✓	✓	✓	C8.2c	✓	✓	✓	X				
事業戦略	事業戦略、財務計画&シナリオ分析	C3.1	✓	✓	✓	✓	C8.2d	✓	✓	✓	✓				
		C3.2	✓	✓	✓	✓	C8.2e	✓	✓	✓	✓				
		C3.2a	✓	✓	✓	✓	C8.2g	✓	✓	X	X				
		C3.2b	✓	✓	✓	X	C8.2h	✓	✓	✓	✓				
		C3.3	✓	✓	X	X	C8.2i	✓	✓	X	X				
		C3.4	✓	✓	X	X	C8.2j	X	X	X	X				
		C3.5	✓	X	✓	X	C8.2k	X	X	X	X				
		C3.5a	✓	X	X	X	C8.2l	X	X	X	X				
		C4.1	✓	✓	✓	✓	C8.2m	X	X	X	X				
		C4.1a	✓	✓	✓	✓	C-T08.5	✓	✓	X	X				
目標と実績	目標	C4.1b	✓	✓	✓	✓	C9.1	X	X	X	X				
		C4.1c	✓	✓	✓	✓	追加的気候関連指標(検証含む)	C-T09.3	✓	✓	X	X			
		C4.2	✓	X	X	X		C-T09.6	✓	X	✓	X			
		C4.2a	✓	✓	✓	X	排出削減活動と低炭素製品	C-T09.6a	✓	✓	✓	X			
		C4.2b	✓	✓	✓	X		C10.1	✓	✓	✓	✓			
	C4.2c	✓	✓	✓	✓	C10.1a		✓	X	✓	✓				
	排出削減活動と低炭素製品	C4.3	✓	✓	✓	X	検証	スコープ1,2排出量(検証含む)	C10.1b	✓	X	✓	✓		
		C4.3a	✓	✓	✓	✓			C10.1c	✓	X	✓	✓		
		C4.3b	✓	✓	✓	X			スコープ3排出量(検証含む)	C10.2	✓	✓	✓	X	
		C4.3c	✓	X	X	X		追加的気候関連指標(検証含む)		C10.2a	✓	✓	✓	X	
C4.3d		✓	X	✓	✓	C11.1			✓	X	X	X			
C4.5	✓	X	✓	X	カーボンライシグ	カーボンライシグ	C11.1a	✓	X	X	X				
C4.5a	✓	✓	✓	X			C11.1b	✓	✓	X	X				
C5.1	✓	X	X	X			C11.1c	✓	✓	X	X				
C5.1a	✓	X	X	X			C11.1d	✓	✓	✓	X				
C5.1b	✓	X	X	X			C11.2	✓	X	X	X				
C5.1c	✓	✓	✓	X			C11.2a	✓	X	✓	X				
C5.2	✓	✓	X	X			C11.3	✓	✓	✓	X				
C5.3	✓	X	X	X			C11.3a	✓	✓	✓	X				
排出量データ	スコープ1,2排出量(検証含む)	C6.1	✓	X			X	X	排出量データ	スコープ1,2排出量(検証含む)	C6.2	✓	✓	X	X
		C6.2	✓	✓			X	X			C6.3	✓	✓	X	X
		C6.3	✓	✓	X	X	C6.4	✓			X	X	X		
		C6.4	✓	X	X	X	C6.4a	✓			✓	✓	X		
		C6.4a	✓	✓	✓	✓	C6.5	✓			✓	✓	✓		
	C6.5	✓	✓	✓	✓	スコープ3排出量(検証含む)	C6.5a	X		X	X	X			

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
		C12.1a	✓	✓	✓	✓
		C12.1b	✓	✓	✓	✓
		C12.1d	✓	X	✓	X
		C12.1e	✓	X	✓	✓
		C12.2	✓	✓	✓	X
	政策協働	C12.2a	✓	✓	X	✓
		C12.3	✓	✓	✓	X
		C12.3a	✓	✓	✓	X
		C12.3b	✓	✓	✓	X
	コミュニケーション	C12.3c	✓	✓	✓	X
		C12.4	✓	X	✓	✓
生物多様性	生物多様性	C15.1	X	X	X	X
		C15.2	X	X	X	X
		C15.3	X	X	X	X
		C15.4	X	X	X	X
		C15.5	X	X	X	X
		C15.6	X	X	X	X
最終承認	最終承認	C16.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2022: 輸送サービスセクター質問 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022輸送サービスセクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答 する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

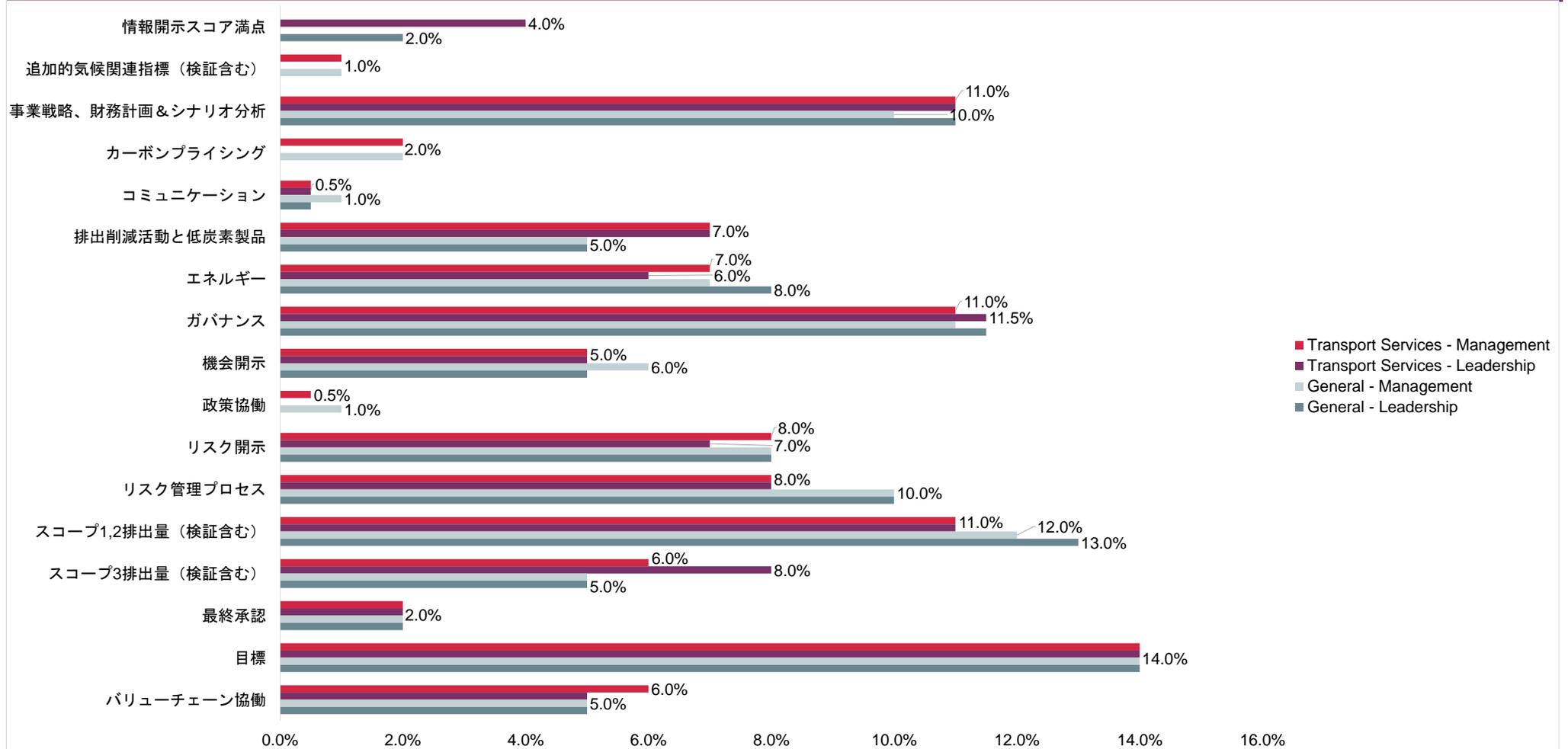
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

輸送サービス:重要なスコアリングカテゴリ

輸送セクターは、排出量が多くエネルギー多消費セクターです。CDPの輸送サービスセクター質問は、次の5種類の輸送技術による人やモノの輸送に関連する企業を対象としています。これは、航空機、普通乗用車（LDV）、大型車（HDV）、船舶、鉄道です。輸送セクターは、世界のエネルギー関連排出量のほぼ4分の1を占め、過去35年間でエネルギー使用量を2倍にしており、スコープ1、2および3（カテゴリ4：上流の輸送、配送）排出量の活動量に基づいた算定が輸送サービスセクターの企業にとって特に重要となります。このセクターの企業は、輸送機器の低炭素技術を導入することによる排出削減活動やバリューチェーン協働を通して、事業戦略に気候変動と低炭素移行計画を統合する必要があります。環境スチュワードシップの進展している企業は、事業戦略にシナリオ分析を活用するでしょう。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 輸送サービスセクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、輸送サービスセクター質問気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

輸送サービススコアリングカテゴリ:各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ		
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量データ	スコープ1,2排出量(検証含む)	C6.7	✓	X	X	X		
	探点対象外	C0.2	X	X	X	X			C6.7a	✓	✓	X	X		
		C0.3	X	X	X	X			C6.10	✓	✓	✓	X		
		C0.4	X	X	X	X		C-TS6.15	✓	✓	X	X			
		C0.5	X	X	X	X			排出量内訳	スコープ1,2排出量(検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X
		C-TS0.7	X	X	X	X					C7.1a	✓	✓	X	X
		C0.8	X	X	X	X					C7.2	✓	✓	X	X
C1.1	✓	✓	X	X	C7.3	✓	X	X			X				
C1.1a	✓	✓	✓	✓	C7.3a	✓	✓	X			X				
C1.1b	✓	✓	✓	✓	C7.3b	✓	✓	X			X				
ガバナンス	ガバナンス	C1.1c	✓	✓	✓	✓	C7.3c	✓	✓	X	X				
		C1.1d	✓	✓	✓	X	C-TS7.4	✓	X	X	X				
		C1.2	✓	✓	✓	✓		C7.5	✓	✓	X	X			
		C1.2a	✓	X	✓	X	C7.6	✓	X	X	X				
		C1.3	✓	✓	✓	X	C7.6a	✓	✓	X	X				
		C1.3a	✓	✓	✓	✓	C7.6b	✓	✓	X	X				
		リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X	C7.6c	✓	✓	X	X		
				C2.1a	✓	✓	X	X	C-TS7.7	✓	X	X	X		
				C2.1b	✓	X	✓	X		C7.9	✓	✓	X	X	
				C2.2	✓	✓	✓	✓	C7.9a	✓	✓	✓	X		
C2.2a	✓			✓	✓	✓	C7.9b	✓	✓	X	X				
C2.2g	✓		✓	✓	✓	エネルギー	エネルギー	C8.1	✓	✓	X	X			
C2.3	✓		X	✓	X			C8.2	✓	X	X	X			
C2.3a	✓		✓	✓	✓			C8.1	✓	✓	X	X			
C2.3b	✓		✓	✓	✓			C8.2	✓	X	X	X			
C2.4	✓		X	✓	X			C8.2a	✓	✓	✓	✓			
機会開示	C2.4a	✓	✓	✓	✓			C8.2b	✓	X	X	X			
	C2.4b	✓	✓	✓	✓			C8.2c	✓	✓	✓	X			
	C3.1	✓	✓	✓	✓			C8.2d	✓	✓	✓	✓			
	C3.2	✓	✓	✓	✓			C8.2e	✓	✓	✓	✓			
	C3.2a	✓	✓	✓	✓			C-TS8.2f	✓	✓	X	X			
C3.2b	✓	✓	✓	X	C8.2g	✓	✓		X	X					
事業戦略	事業戦略、財務計画&シナリオ分析	C3.3	✓	✓	X	X	C8.2h	✓	✓	✓	✓				
		C3.4	✓	✓	X	X	C8.2i	✓	✓	X	X				
		C3.5	✓	X	✓	X	C8.2j	X	X	X	X				
		C3.5a	✓	X	X	X	C8.2k	X	X	X	X				
		C4.1	✓	✓	✓	✓	C8.2l	X	X	X	X				
		目標と実績	目標	C4.1a	✓	✓	✓	✓	C8.2m	X	X	X	X		
				C4.1b	✓	✓	✓	✓	C-TS8.5	✓	✓	X	X		
				C4.1c	✓	✓	✓	✓		追加的気候関連指標	追加的気候関連指標(検証含む)	C9.1	X	X	X
				C4.2	✓	X	✓	✓	C-TS9.3			✓	✓	X	X
				C4.2a	✓	✓	✓	X	C-TS9.6			✓	X	✓	X
C4.2b	✓		✓	✓	X	C-TS9.6a	✓	✓				✓	X		
C4.2c	✓		✓	✓	✓	C10.1	✓	✓				✓	✓		
排出削減活動と低炭素製品	C4.3		✓	✓	✓	X	スコープ1,2排出量(検証含む)	C10.1a	✓	X	✓	✓			
	C4.3a		✓	✓	✓	✓		C10.1b	✓	X	✓	✓			
	C4.3b		✓	✓	✓	X		スコープ3排出量(検証含む)	C10.1c	✓	X	✓	✓		
	C4.3c	✓	X	X	X	追加的気候関連指標(検証含む)	C10.2		✓	✓	✓	X			
	C4.3d	✓	X	✓	✓		C10.2a	✓	✓	✓	X				
C4.5	✓	X	✓	X	カーボンプライシング		カーボンプライシング	C11.1	✓	X	X	X			
C4.5a	✓	✓	✓	X		C11.1a		✓	X	X	X				
排出量算定基準	スコープ1,2排出量(検証含む)	C5.1	✓	X		X		X	C11.1b	✓	✓	X	X		
		C5.1a	✓	X		X		X	C11.1c	✓	✓	X	X		
		C5.1b	✓	X		X		X	C11.1d	✓	✓	✓	X		
		C5.1c	✓	✓		✓		X	C11.2	✓	X	X	X		
		C5.2	✓	✓		X		X	C11.2a	✓	X	✓	X		
排出量データ	スコープ3排出量(検証含む)	C5.3	✓	X		X		X	C11.3	✓	✓	✓	X		
		C6.1	✓	X		X		X	C11.3a	✓	✓	✓	X		
		C6.2	✓	✓		X		X		C6.3	✓	✓	X	X	
		C6.3	✓	✓	X	X	C6.4	✓	X	X	X				
		C6.4	✓	✓	✓	X	C6.4a	✓	✓	✓	X				
C6.5	✓	✓	✓	✓	C6.5	✓	✓	✓	✓						
C6.5a	X	X	X	X	C6.5a	X	X	X	X						

モジュール	スコアリングカテゴリー	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	凡例		
エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X	✓	当該レベルで評価される質問	
		C12.1a	✓	✓	✓	✓	X	当該レベルで評価されない質問	
		C12.1b	✓	✓	✓	✓	✓	太字	セクター別質問
		C12.1d	✓	X	✓	X	✓		
		C12.1e	✓	X	✓	✓	✓		
		C12.2	✓	✓	✓	✓	X		
	政策協働	C12.2a	✓	✓	✓	X	✓		
		C12.3	✓	✓	✓	✓	X		
		C12.3a	✓	✓	✓	✓	X		
		C12.3b	✓	✓	✓	✓	X		
	コミュニケーション	C12.3c	✓	✓	✓	✓	X		
		C12.4	✓	X	✓	✓	✓		
	生物多様性	生物多様性	C15.1	X	X	X	X		
C15.2			X	X	X	X			
C15.3			X	X	X	X			
C15.4			X	X	X	X			
C15.5			X	X	X	X			
C15.6			X	X	X	X			
最終承認	最終承認	C16.1	✓	X	✓	✓			

気候変動質問書2022: 簡易版 スコアリング基準 カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2022 簡易版に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。

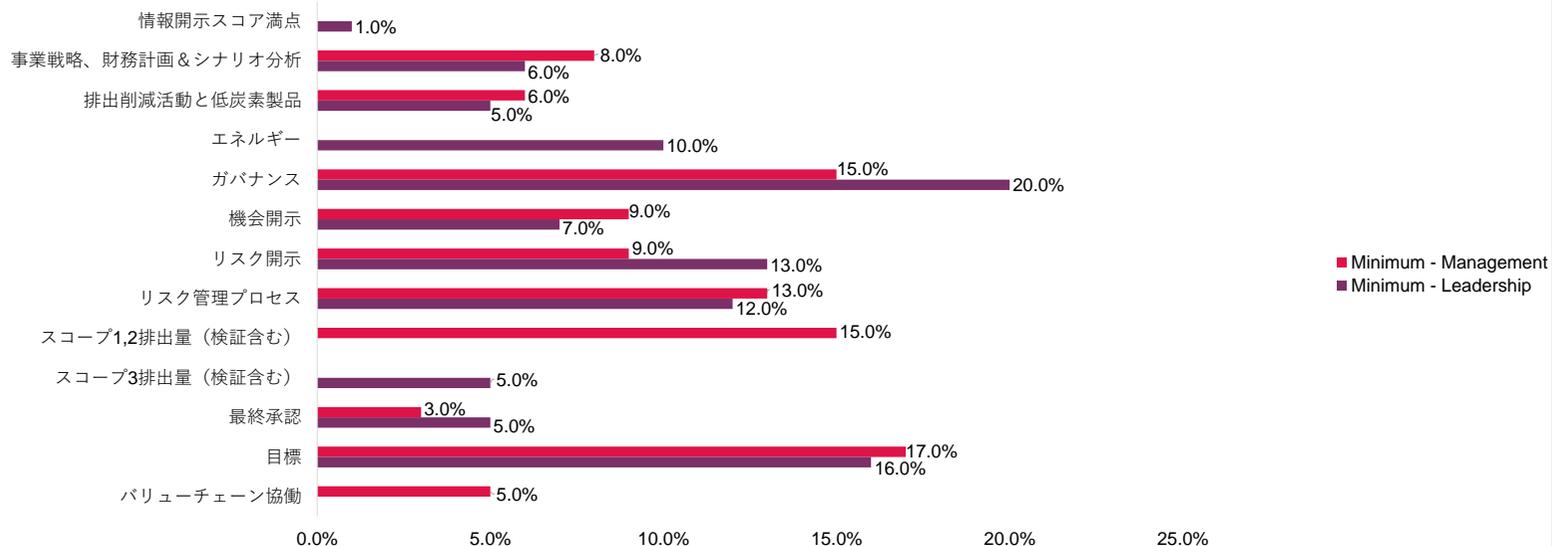
スコアリングカテゴリとウェイト: 概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2022質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

簡易版 スコアリングカテゴリ

簡易版の13のスコアリングカテゴリは、情報開示スコア満点、ガバナンス、リスク管理プロセス、リスク開示、機会開示、事業戦略、財務計画&シナリオ分析、目標、排出削減活動と低炭素製品、スコープ1&2排出量(検証を含む)、スコープ3排出量(検証を含む)、エネルギー、バリューチェーン協働、および最終承認です。

スコアリングカテゴリとウェイト: 簡易版 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、簡易版気候変動2022スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

簡易版スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓
	採点対象外	C0.2	X	X	X	X
		C0.3	X	X	X	X
		C0.4	X	X	X	X
		C0.8	X	X	X	X
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X
		C1.1c	✓	✓	✓	✓
		C1.2	✓	✓	✓	✓
		C1.3	✓	✓	✓	X
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X
		C2.2g	✓	✓	✓	✓
	リスク開示	C2.3	✓	X	X	X
		C2.3a	✓	✓	✓	✓
		C2.3b	✓	✓	✓	✓
	機会開示	C2.4	✓	X	X	X
		C2.4a	✓	✓	✓	✓
C2.4b	✓	✓	✓	✓		
事業戦略	事業戦略、財務計画&シナリオ分析	C3.1	✓	✓	✓	✓
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	✓
		C4.1a	✓	✓	✓	✓
		C4.1b	✓	✓	✓	X
		C4.1c	✓	✓	✓	✓
		C4.2	✓	X	X	X
		C4.2a	✓	✓	✓	X
		C4.2b	✓	✓	✓	X
	C4.2c	✓	✓	✓	X	
	排出削減活動と低炭素製品	C4.3	✓	✓	✓	X
		C4.3b	✓	✓	✓	X
C4.3d		✓	X	✓	✓	
排出量算定基準		C5.1	✓	X	X	X
		C5.2	✓	✓	X	X
		C5.3	✓	X	X	X
排出量データ	スコープ1,2排出量(検証含む)	C6.1	✓	X	X	X
		C6.2	✓	✓	X	X
		C6.3	✓	✓	X	X
	スコープ3排出量(検証含む)	C6.5	✓	✓	✓	✓
		C6.5a	X	X	X	X
	スコープ1,2排出量(検証含む)	C6.10	✓	✓	✓	X
排出量内訳		C7.9	✓	✓	X	X
エネルギー	エネルギー	C8.2	✓	X	X	X
		C8.2a	✓	✓	✓	✓
バリューチェーン協働	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
		C12.2	✓	✓	✓	X
最終承認	最終承認	C16.1	✓	X	✓	✓

凡例

✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問